

令和元年度

第2回

埼玉県第五採択地区協議会

議事録

令和元年7月22日(月)

開会：午前9時00分

閉会：午後5時15分

新座市役所 本庁舎

5階 全員協議会室

第2回第五採択地区協議会 議事録

期 日	令和元年7月22日(月)	
場 所	新座市役所 本庁舎 5階 全員協議会室	
開 会	午前9時00分	
閉 会	午後5時15分	
委 員	和光市教育委員会	教育長 教育長職務代理者 委 員(欠席) 委 員 委 員 和光市保護者代表
	朝霞市教育委員会	教育長職務代理者 委 員(欠席) 委 員 委 員 学校教育部参事兼教育指導課長 朝霞市保護者代表
事 務 局	和光市教育委員会	事務局次長兼学校教育課長 学校教育課副主幹兼指導主事
	朝霞市教育委員会	学校教育部教育指導課長補佐 学校教育部教育指導課指導主事

1 開会のことば

司 会 ただいまより第2回第五採択地区協議会を開会いたします。

2 あいさつ

司 会 第五採択地区協議会 会長 があいさつを申し上げます。

会 長 おはようございます。大変足元の悪いところ、そしてまた公務ご多用のところお集まりいただきまして、ありがとうございます。

今回は令和2年度から使用する小学校全教科と、令和2年度に使用する特別の教科道徳を除く中学校の教科用図書の採択となります。5月7日に第1回採択協議会以降、5月17日に第1回調査員会議を開催しまして、その後調査員の方々に教科用図書の研究をお願いしてまいりました。また6月14日から6月28日まで和光市中央公民館において、教科書展示会を開催させていただきました。教職員はもとより、保護者、一般の方々も含め多くの来場者がありました。アンケートではたくさんの感想やご意見をいただき、教職員には教科用図書の研究のまとめを提出していただいております。教科用図書につきましては、第五採択地区内において教科種目ごとに同一の教科用図書を採択することになっております。本日調査員の調査報告をもとに、関係教育委員会が協議して選定することとなります。選定案について、公正かつ慎重なご協議をお願いいたしましてあいさつとさせていただきます。どうぞよろしくお願いいたします。

3 事務局からの連絡

司 会 事務局から本日の日程等につきまして連絡いたします。

事務局 本日の日程ですが、このあと議事の報告に続きまして、調査員の調査研究結果の報告と質疑応答を行い、その後、協議に入ります。

なお、対象教科は、小学校の部は全ての教科、中学校の部は「特別の教科 道徳」を除く各教科となっております。

4 議事

司 会 それでは、議事に入ります。第五採択地区協議会規約の第10条2項により、ここからは、会長に議長をお願いいたします。

会 長 それでは、議事に入ります。

採択に係る情報の積極的な公開が求められておりますことから、議事録作成のため、録音させていただきたいと思います。議事録作成が済みましたら消去いたしますが、御了解いただけますでしょうか。

委 員 (異議なし)

会 長 それでは録音を開始させていただきます。

次に、第2回採択地区協議会議事録の署名委員についてお諮りします。

本日の議事録の署名委員については、和光市教育委員会 教育長職務代理人、朝霞市教育委員会 委員をお願いしてよろしいでしょうか。

委 員	(異議なし)
会 長	2名の方々どうぞよろしく願いいたします。最後に、第2回採択地区協議会の公開についてお諮りします。 本日の協議会は公開といたしますが、協議及び採択につきましては、静謐な環境を保つため非公開としたいと思いますが、いかがでしょうか。第五採択地区協議会規約第14条により『出席した委員の3分の2以上の多数で議決したときは非公開とする。』とありますので、採決させていただきます。 協議及び採択につきまして、非公開とすることに賛成の委員の挙手を求めます。
委 員	(挙手総員)
会 長	挙手総員でございます。それでは、協議及び採択につきまして、非公開といたします。では、事務局から提案があります。
事務局	教科書(案)の選定につきましては、展示会アンケートや、各学校からの調査研究結果も考慮し、調査員の調査研究結果の報告をもとに第五採択地区協議会規約第11条に従い協議のうえ、決定していただきたいと考えております。お諮りいただければと存じます。
会 長	事務局から提案がありました選定方法についてでございますが、協議というかたちでいかがでしょうか。
委 員	(異議なし)
会 長	異議なしという事で、協議の細かいことについては、第五採択地区協議会規約第11条に従って協議の時に確認することといたします。 それでは、報告に入ります。事務局お願いします。
事務局	6月14日(金)から6月27日(木)まで和光市中央公民館で開催された教科書展示会には、のべ695名の方が来館されました。アンケートの回答内容につきましては、各教科書の内容に関するもの、会場運営に関するもの等がございます。記入者は、保護者、一般の方、教員等でございます。また、各学校からの調査研究のまとめにつきましても、既に委員の皆様にはお渡ししてありますので、協議の際の参考としてください。
会 長	事務局の説明について、御質問等ございますでしょうか。
委 員	(質問なし)
会 長	それでは、調査員の調査研究結果の報告と質疑応答に入ります。 まず小学校「特別の教科 道徳」の調査員代表に調査結果の報告をお願いしま

す。

調査員代表

調査の結果をご報告申し上げます。番号順に進めていきたいと思っております。2番、東京書籍でございます。こちらは課題について考えるといった課題解決型の教材を多く取り入れております。これまでの日本の道德教育の流れを汲んだ内容となっております。そのため昔ながらの教材も、しっかり残しながら教科書を作っているなという感じを受けています。それに加えて、ちびまる子ちゃんであったりドラえもんであったり、子供たちが興味関心を引くようなものを取り入れながら工夫されております。こちらの特色としましては発問です。主発問、主人公のゆらぎの部分の主発問として持っていて、深く考えさせるというところ、それからいじめの事例と命の大切さについて、両側面からいじめ防止にむけて考えられているなというような内容が印象的でございます。

続きまして11番、学校図書でございます。こちら、気づきと学びということで別冊ノートが入っております。別冊は教科書を見ながら書き込むものと、教科書から離れて広く価値の一般化につながるようなものとで構成されており、両側面から目標により迫れるような工夫がなされています。またキャリア教育、福祉教育、食育、持続可能な社会等、現代的な課題をバランスよく構成されております。ノートにつきましては、ソーシャルスキルなども取り入れて深く考えられるような工夫がなされております。

続きまして17番、教育出版でございます。こちらにつきましては、学習のねらいに関わる投げかけが始めに書かれており、展開や他教科の学習につながるような発問がなされているところが特徴でございます。それから巻末の学びの記録については、学習の足跡・成長が確認できるような工夫がなされています。また、深めようというコーナーにおきましては、自分はどうしたらよいのかということについて考えるような問いかけになっているところも特徴です。ただ、特別活動の学習に偏りがちになってしまうかと考えられることから、教員の技量が問われてしまうところが、少し気になっているところでございます。

続きまして38番、光村図書でございます。こちらにつきましては教材の末にある、考えを話し合うねらいが明確に表現されております。他が一単位授業の流れ、気づく、深める、まとめる、広げるといった流れについて書かれているところ、光村図書の場合は、考えるということに視点を当てて、書いて考える、話し合って考えるように考える方法を明確にしておき、考え議論する道德ということ意識しながら作られていると感じました。また、いじめ問題、情報モラル、環境国際理解、福祉共生等、現代的な課題をユニット教材として複数で取り上げられております。特にこの中で特化しているところは、いじめ問題について1学期の早い段階に計画をされているところが印象的でした。学級が新しくなった、早期の段階で押さえるように工夫されております。生命尊重の内容項目が多く、いじめ防止との関連も見られます。もう一つ特徴的なのが、『なんだろうなんだろう』というヨシタケさんの漫画形式のコラムがありまして、こちらを読んで「幸せって何?」とか「学校って何?」という普遍的な問題について、子供たちが興味を持って考えられるような工夫がなされております。最後になりますが、写真が非常に美しいです。ぱっと見て、子供は目から入るところが多くございまして、「素敵だな。」「美しい地球って。地球を大事にしないといけないな。」という感情をもった上で、地球の温暖化を考えることができ、素晴らしい映像と内容とがうまくリンクされているように構成されているところも、大変印象的でした。

続きまして116番、日本教出版でございます。こちらは教材の冒頭に、テーマとねらいが記載されております。そのため話の筋がおおまかに、この段階で子供たちが把握でき、そのため考えて議論する時間がしっかり確保できるような

構成となっております。またこちらの特徴といたしましては、いじめに特化しているという感を受けました。例えば、いじめの4層構造に触れています。道徳の学習にとしては、少し踏み込んだ内容になっておりますが、やはり社会問題として大きな問題にいじめがなっているということを踏まえて、高学年においてはいじめは法律に引っかかるよ、罪になるよということと題名が書かれていたり、また相談する窓口がこういうところがあるよということで、SOSの出し方につながるというような内容まで記載されている構成となっております。もう一つ他とは違っているというところが、1年生において最初から11教材ほとんど絵と写真で構成されています。これはひらがな表記が話題となる1学期、6月中旬下旬までは文字で追っていくのは、理解するのは非常に厳しいというところから、絵で理解をさせて話し合いというところを重点的に進められるような工夫がなされていたというところが印象的です。しかし、教科書としては他に比べ少し重いです。400グラムを越してしまうというところで重いところはあるのですが、内容は35教材プラスアルファされているので差し替えが可能な幅をもたせた構成となっております。

続きまして208番の光文でございます。こちらは冒頭に導入、人物紹介、それから末尾にまとめ、広げるのを設置し1時間の授業の目的、流れを明確にしているというところです。また3年生までは、全漢字にふりがながふってあり、LD児童の配慮などがなされております。また配色は、ユニバーサルデザインに配慮されたものとなっております。まとめの発問にはつい考えたくするような内容を取り入れながら、子供たちの興味が持続するような工夫がなされております。

続きまして224番の学研教育みらいでございます。こちらは特徴としては他の教科書よりも版が非常に大きくなっております。巻頭で1年間を通した道徳の学びの全体像をつかむ、その後まず自分を見つめさせる、そして1年の終わりに学びを振り返る、年度当初見つけていた今日の自分と比較することで、自らの成長が感じられるような工夫がなされているところが特徴でございます。ただ他と違っているところが、教材に主題名を記入しておりません。それから発問につきましても、高学年におきまして書かれていますが、低学年において発問はあえて記入しておりません。発問につきましても問いは2つまでと絞っております。教師の技量によっていかようにも広がっていく、指導の幅を持たせたような工夫がなされているところが特徴でございます。またこちらの写真は、声が出せるようになっているのですが、例えば動物の様子を動画で見られるような工夫となっており、生命の神秘につながるような、そんな教科書には載せられないところを、QRコードを通して子供に伝えるというところが印象的でした。

最後となります。232番のあかつきでございます。こちらは3年生以上に学習の道筋がございます。価値の方向付けにつながる一文が、必ず用意されており明確なねらいとなっております。こちらにつきましてもノートが用意されています。こちらは中身が教科書と必ずしも一致していない、教科書から価値の一般化の部分について考えるような内容となっております。これまで使っていた心のノートを彷彿させるような内容となっておりますが、そうすると内容的に盛りだくさんなので、教師にとっては膨らませて広げていける魅力的なところはあるのですが、若い教師がどう使うかなというところが課題になってくるのかなと思います。また内容として偉人を取り上げているところがあるのですが、現代のステイジョブズなど時代の寵児と呼ばれているような方をあえて取り上げているところも、こちらの出版社の特徴となっております。以上で終わります。

会 長 ただ今の調査研究の結果報告につきまして、質問はございますでしょうか。

委 員 教科書によっては先生の力が非常に必要で、その力によっては幅広く広げられ

	る、または若い先生でも入りやすくなっている教科書等あると思うのですが、もし教科書として採用された場合に先生としては、どういう考えをお持ちでしょうか。
調査員代表	教科書を若い先生が使いやすいというところは、発問がたくさん載っている教科書会社となります。そうすると、そのままやればいいんだなということで教材研究が少しおろそかになってしまうのではないかなという考えと、一方では発問に関する表示が少ない場合、先生方の勉強などの準備をしなければいけないということです。さらに、指導書があるということで、道徳というものはクラスでやるのですが、学年揃えて話をしながら進めていく、学年全体の子供を育てていくという視点で進めていかなければいけないというところで、どちらも良いところ、悪いところがあるんじゃないかなと思っております。
委員	ノートがあるないについて、先生の御意見は。
調査員代表	現在使っている学校があるのですが、それについてはちょっと使いにくいという声があがっております。なので全てを使うのではなく、その一部を使いながら、教師が迫りたい価値に向かったの流がまとめられているプリントなどを、それぞれ用意しながらノートに貼りこむというような使い方を現在しているところでございます。使い方次第かなというのと、教科書会社もノートについては考えていらっしやっていて、非常に改善が見られているので、これから使いやすくなっていくのかなというところもあります。
会長	よろしいでしょうか。それでは、ありがとうございました。
委員	(質問なし)
司会	次に、小学校「国語・書写」の調査員代表に調査結果の報告をお願いします。
調査員代表	それでは国語・書写の調査結果についてご説明申し上げます。 国語報告書1枚目、東京書籍の総括です。まず一点目です。全学年を通して紹介されている図書の量、質、ともに充実しており、読書に親しむことができる構成となります。続いて二点目です。掴む、取り組む、振り返るというシンプルな構成が一貫されており、学力のねらいが明確です。そのため三点目にありますように自学が可能な構成とも言えます。四点目です。言葉や漢字を繰り返しスパイラルに扱っており、系統的に知識及び技能を習得できる構成と言えます。五点目、図や写真などの資料が充実しています。最後に六点目。複数の資料を比較し、関連付け、読み比べできる単元が多く、思考判断力、表現力の育成ができる内容構成です。 続いて国語報告書2枚目、学校図書です。まず一点目として、各学年の初めに今までの学習を振り返らせるとともにこれからの学習の進め方がイメージされており、スタートからゴールまでの見通しをもって学習できる方針と言えます。続いて二点目。巻末資料に学習内容・用語のまとめがあり、各単元ともリンクしてる点を学びの整理と振り返りという観点から見て、良いと思われます。三点目です。読書の部屋コーナーで、様々な図書の特徴・あらすじ等が紹介されているので、図書教材が充実していると言えます。四点目です。授業のねらいが明確に示されており、教師にとっても児童にとってもわかりやすい教科書となっています。

す。

報告書3枚目、教育出版です。まず一点目です。プログラミング的思考力を高める単元、想像を広げて物語を創作する教材、ショートショートを書く単元など、今までにない観点からの教材があり、新学習指導要領を強く意識した構成です。二点目です。国語科の学びを他教科で生かせるよう、関連性を広く意識されています。また話す・聞く・書く・読むが相互に関連付けられて一つに構成されている単元もあり、領域を超えた学びが可能です。

報告書4枚目、光村図書になります。まず一点目です。全学年を通して、それぞれの単元に学びの過程と学習活動が明確に示されており、何を学ぶのか、どのように学ぶのかが明快です。同時に教訓的、スパイラル的な学びが期待できる構成です。続いて二点目。説明文を読む単元では、本文と同じ段落構成の簡潔に書かれた練習を事前に学んだ後に、同じ段落構成の本教材が提示されるという教材同士のつながりを生かした単元があり、段落構成の理解が容易で学力低位の児童にも易しい構成と言えます。三点目です。日常生活への活用を促す内容が多く、児童が学んだことを活用できるようになっています。例えば内容報告の2つ目の○にありますように、情報・ものづくり・国際理解・食育・環境等の総合的な学習との関連、3つ目の○にありますように記録文・新聞作り・報告書・インターネット資料の活用等、他教科との学習との関連が明確に記されています。四点目です。2年生以上の学年で一貫し、捉える、深める・まとめる・表現の学習過程が明示されています。これは知識・技能の習得と活用だけでなく、さらに学びを深めたり、広げたりする探求の視点までしっかりと捉えた学びと言えます。

それでは書写の報告に移らせていただきます。

報告書1枚目、東京書籍です。一点目です。学習内容の明確化と学びの自覚化への工夫があり、何を学習しているかがわかりやすい構成です。例えば内容報告の1つ目の○にありますように、表紙裏の書写の旅で、学習内容が明示されています。また2つ目の○にありますように、ページ左側に単元の重点が系統的に明記されており、巻末にもこれまでの学びが一覧になって掲載されています。二点目です。児童の実態を捉えた学習の進め方ができる構成となっています。一例を挙げますと、硬筆の文字から筆の運びに着目させ、毛筆でそれを確かめる等の進め方が秀逸です。三点目です。学習や生活に一步働く構成であるといえます。一例を挙げます。内容項目、各教科や日常生活との関わりとも、1つ目の○にありますように各学年に配置された生活に広げようの学習では、学びを活用したり他教科との関連をできたりする内容になっています。四点目です。音・リズムによる学びにより、技能の定着が図られています。例えば表記・表現報告の1つ目の○にありますように、毛筆を書いてみようにおいてとん、すう、ぴた等の音で筆の運びが明記され、筆の向きも示されています。

2枚目、学校図書になります。一点目です。学習内容が明確で学びの自覚がしやすい工夫があります。二点目です。学習の進め方が明記されており、パターン化されています。それにより自学での学習が可能な構成です。三点目です。学習のつながり、系統が意識されています。過去の学びを振り返るコーナー、該当学年の学びのまとめ等が、児童の学びを助けられると思われれます。四点目。漢字学習との関連が密に諮られています。

3枚目、教育出版になります。一点目です。学びの振り返りが繰り返し掲載され、着実な学びの計画が諮られています。二点目です。何を学習するのか、見通しを持たせるために問題意識を持たせる工夫があり、振り返りにより確実な学習内容の定着が諮られるようになっています。三点目です。内容報告、学びに向かう力の3つ目の○にありますように、めあてと振り返ろうがセットになっている等学びの定着を諮る工夫が見られます。四点目です。他教科や生活に生きる学びの工夫があります。レッツトライのコーナー等が、それにあたります。

4枚目、光村図書です。まず一点目。国語の光村図書、教科書との関連が各学年で随所にあります。国語の教科書が光村図書である場合、国語とよく関連した授業設計が可能です。二点目です。シンプルな内容で、比較的捉えやすい情報が多い構成です。一例を挙げますと資料項目の1つ目の○にありますように、漢字の成り立ちをイラストで解説する漢字図鑑が全学年に配布されます。また資料項目3つ目の○にありますように、QRコードから読み取る動画・写真との関連教材の質量は、より優れています。三点目です。語彙を比較しながら学びを進める工夫があります。一例を挙げます。内容項目、思考判断・表現力の育成の3つ目の○にありますように、5年生以上には複数の資料を比較して文字のポイントを押さえる工夫があります。

5枚目、日本文教出版です。一点目、学習の過程が統一されており、主体的な学びが可能です。例えば内容項目上から2つ目の○にありますように、考える・確かめる・活かすの3段階の学習コーナーが設定されています。二点目です。生活に活きる観点での資料が充実しています。内容項目、各教科や日常生活への関わり合いの○にありますように、生活と書写のコーナーが全学年に設置されておりま

会 長 ありがとうございます。何か御質問ございますでしょうか。

委 員 (質問なし)

司 会 次に、小学校「社会・地図」の調査員代表に調査結果の報告をお願いします。

調査員代表 それでは、調査結果の報告をさせていただきます。まず地図帳です。

発行者番号2 東京書籍です。まずカラーバリアフリーやユニバーサルデザインフォントを使用し、ユニバーサルデザインに配慮しております。二点目、学習指導要領の改定に伴いまして、3年生から地図帳を使用できるように、巻頭に鳥瞰図から地図にするまでの過程がわかりやすく解説されていたり、地図を使って、「地図を見渡してみよう、地図帳の使い方」等、丁寧に解説がされています。三点目、どのページにも縮尺の表記とものさしによる実際の距離の表記があります。またこの地図の位置の表記が日本全体のどこに位置しているかなどの工夫が見られました。四点目、資料のページに 日本を世界との関わりからわかるように、年表に番号をうち、そのころ世界とどのような関係だったかを分かりやすく示していました。五点目、各ページにキャラクターがおり、地図帳の見方や調べ方、そういったヒントを出して地図帳の見方、考え方を示していました。六点目、Dマークの表示があり、2次元コードからインターネットにアクセスし、詳細な資料を調査することができる工夫がありました。

続いて、発行者番号46 帝国書院です。一点目、カラーバリアフリーやユニバーサルデザインフォントを使用し、ユニバーサルデザインに配慮されています。高さの階層と色分けが見やすく、子供たちにとっても非常に見やすい表記をしていると思います。二点目、学習指導要領の改定に伴い、3年生から地図帳を使用できるように、「地図ってなんだろう」、「地図のやくそく」等々、非常にわかりやすく 解説をしています。三点目、目的に合わせて地図を使い分けられるように、日本の地方ごとに広く見渡す地図から、都道府県単位で見る地図まで縮尺を変えた構成がされていました。四点目、縮尺の表し方、ひと分数、地図上の1センチが実際どのくらいの長さになるかという3種類の表記がありました。五点目、地図マスターへの道で、レベル別に地図帳の見方や調べ方について示され、地図活用の技能を高める一助になると思われる工夫があると思いました。巻

末には、その問題の答えも掲載されています。六点目、各ページにキャラクターが地図の見方や調べ方を示し、意欲を喚起しています。七点目、資料のページには、主題図と資料と写真がみやすく配置されています。最後、八点目、2次元コードが添付されており、インターネットにアクセスし、詳細な資料が手に入られるようになっていきます。

続いて、社会科の教科書になります。

発行者番号2東京書籍です。まず一点目、3、4年生が1冊、5年生が上下巻、6年生が政治国際編と歴史編と分冊になっています。二点目、單元ごとに「つかむ、しらべる、まとめる、いかす」の学習過程を組み、問題解決的な学習が進められるように工夫されていました。特に学習問題を立てる場面は、非常に丁寧に工夫されています。また、本時のめあても明示されています。三点目、「まとめる」では、單元ごとに多様なまとめ方、例えば、年表づくり、キャッチコピーなど、多様な表現方法が示されています。また、「いかす、広げる」では、自分にできることや、社会とかかわる場面などの工夫がみられました。四点目、学習問題について、問いや学び方コーナー、資料の見方や読み取り方を示し、社会的事象の見方を働かせて、考察できるような構成になっていました。五点目、学習の進め方では、学習問題の作り方、さまざまな方法を使った調べ方、まとめ方を具体的に示し、学習の見通しを持たせる工夫がありました。六点目、Dマークという表示があり、2次元コードからインターネットにアクセスし、詳細な資料を手に入れることができる工夫がありました。七点目、ドラえもんが社会的な見方・考え方、空間・時間・関係等の視点を示していました。

続いて、発行者番号17番、教育出版です。一点目、各学年上下巻なしの1冊で構成されています。二点目、單元ごとに、「つかむ」「調べる」「まとめる」「つなげる」の学習過程を組み、問題解決的な学習が進められるように工夫されていました。三点目、「まとめる」では、「キーワードをふり返ろう」を使って、学習問題について自分の考えをまとめさせる工夫も見られ、「選択・判断」させる場面も設定しています。「やってみよう」で人物の気持ちを吹き出して記入させたり、付箋を貼って整理させたり、ノートにまとめさせたりする等多様な表現活動をさせています。四点目、キャラクターのセリフを通して、社会的事象の見方・考え方の視点を示していました。五点目、「この時間の問い」として本時の課題を示し、側注の「学びのてびき」「解説」で、本時の課題を解決する手掛かりを示しています。「次につなげよう」で、本時の課題解決のヒントを示すとともに、次時の問いにつなげていました。六点目、「つなげる」では、話し合いの中から「自分たちにできること」を考えさせたり、地域と関わらせたりする場面を設定していました。七点目、「学びリンク」マークが示され、ウェブサイトから情報を見ることができる工夫がありました。

続いて、発行者番号116日本文教出版です。一点目、各学年上下巻なしの1冊で構成されています。二点目、單元ごとに学習過程を明示していないが、「学習活動」と「学習内容」が示され、学習問題を解決するために見通しを持たせる「学習の計画」、「まとめ」「振り返りシート」を通して、問題解決的な学習が進められる構成になっている。「つかむ」「調べる」等の明確な学習過程は示していません。三点目、側注の「キーワード」で大切な語句を、「むずかしい言葉」で語句の解説を入れています。「学び方コーナー」、「見方・考え方」で調べ方や社会的事象の見方・考え方等を示し、見通しをもって学習が進められるような工夫が見られました。四点目、写真や資料が比較的大きく掲載されており、見やすくなっています。五点目、学習問題を解決した後に、「さらに考えたい問題」があり、さらなる疑問や関心を持たせ、調べたり、考えさせたり、話させたりする場面を設定しています。六点目、「やってみよう」で、調べたり作業したりする視点や方法が示され、見通しをもって学習が進められるように工夫がありま

	した。
会 長	ありがとうございます。何か御質問ございますでしょうか。
委 員	(質問なし)
司 会	次に、小学校「英語」の調査員代表に調査結果の報告をお願いします。
調査員代表	それでは報告は、総括、特色に記載したもので、特に印象に残ったものをお伝えします。 まず始めに、東京書籍の NEW HORIZON Elementary English Course についてでございます。○教科書のサイズが大きい。○音と映像で重要表現に出会う、ペア・グループワークで重要表現に慣れる、思いを形にして楽しむ、確かめるという流れになっており、習得の流れがパターン化されている。○5年では日本、6年では世界をテーマに学習内容を構成している。○We Can! Let's Try! を軸に編集している。○外国語活動で慣れ親しんだ状況・目的・場面をスパイラルに扱っている。(例：時刻や日課を伝え合う→頻度も含めた日課について話し合う)○Picture Dictionary (中学校の学習を見据えた語彙、学習する表現、Can Do List) が別冊としてある。QR コード付で自学も可能である。○6年生の最後のページにある、「学び方見つけた！」は中学校の橋渡しとして、be 動詞、一般動詞についてのまとめがある。さらにアルファベットや単語は巻末のページに書いて練習できるようになっていて、また、基本文については書き写す学習も巻末にまとめてあります。生命や自然環境、食育など他教科関連の題材が多く、発表する活動が設定されています。 続きまして、開隆堂の Junior Sunshine についてでございます。○単元の始めでゴールを見通す、様々な活動(聞く、ゲームをするなど)を通して繰り返し学習する、単元で学んだことを活用しながらまとめになるコミュニケーション活動を行う、振り返りをするという流れになっている。○5年では「英語で広がる世界」、6年では「世界の中の自分」というテーマに沿って内容が配列されている。○巻末の付録に、各レッスンの活動や文字についてどのようなことができるようになったのか細かくチェックできるようになっている。○巻末の「中学校へつながよう」では中学校でつまづきやすい語順、過去形、単数・複数、外来語の4つの項目がまとめてある。○教師用指導書に外国籍児童に向けた資料が収録されている。(7ヶ国語) 内容3点でございます。巻末の「文字に慣れよう」が5年で9レッスン、6年で11レッスンある。文字を書く、書き写す、読む、聞く活動が段階的、体系的に学習できる。各15分でできる3つの活動で構成されているためモジュールにも対応できるようになっています。さらに、これまでの学習を復習、活用しながらある目的に向かって活動していくプロジェクト的な学習が設定されています。巻末には、中学校の教科書と同じような英語と日本語訳が書かれた語彙リストがあります。 続いて、学校図書、JUNIOR TOTAL ENGLISH でございます。○教科書のサイズが大きい。○英語の歌を歌う、パノラマに書かれた絵に関わるスクリプト Let's listen を聞く。チャンツを聞いたり言ったりするという4つの活動を毎時間行いう構成になっている。○各レッスンの始めにあるパノラマページの絵には英語単語が書かれていない。○5年で外国を知り、6年で日本について発信することを目指している。○レッスンの途中にある Shaggy's Story は英文を読む意欲につながる。○1つの活動は15分で展開できるよう工夫されておりモジュールで使用が可能。以上でございます。さらに各学年で10の英語の歌が英語のインプット活動として掲載されていて、歌詞には中学でも学習する内容も含まれて

いるため、中学での学びを支えられるようになっていきます。年2回の **Project Time** では、発表用のシートを作って **Show&Tell** 形式で発表を行うようになっていきます。巻頭には、学習の仕方が4ページ分あり、3、4、5年で学習した表現についての **pre-lesson** があります。

続いて三省堂の **CROWN Jr.** でございます。○**HOP** で、自分のできること、できないことを確かめ、**STEP** で活動を積み上げ、最後の **JUMP** で積み上げた学習で自己表現する構成は教師にも生徒にも学習の見通しが持ちやすい構成である。特に **JUMP** のメモにより発表内容を考える活動は中学での即興で発表する力につながることを期待できる。さらに、ペア、グループで活動を振り返るページもあり、内容を修正し、より学びを深められる構成になっている。○巻末の **CAN DO** リストを参照し見通しを持って学習できる。達成状況を段階的に評価し、更に上の目標に挑戦する工夫もある。○**Word Bank** の下に英文を書く場所があり、英文を書く負担を減らす工夫がある。○実世界で使われている英語に触れる仕掛けがたくさんある。○厚紙のカード、絵日記、自己紹介は印刷の手間を省くことができる。内容3点でございます。Aa から Zz という順序ではなく文字の特徴を捉えた練習させる活動になっている。各学年3回設置している **JUMP** では、既習内容を用いたプロジェクト型活動があり、学びの見通しを立てる (**HOP**)、コミュニケーション活動を通して基礎的・基本的な知識・技能を習得する (**STEP**)、実際の場面で表現する (**JUMP**)、振り返るという構成は中学で多いプロジェクト型の言語活動につながります。

続いて、教育出版の **ONE WORLD Smiles** でございます。○映像を見て内容を捉える、口慣らしをする、考える、聞く、やり取りをする、読む・書く、発信言語活動を行う、音声と文字のつながりを学ぶ、復習・自己評価をする構成。○題材がクラス内での自己紹介から、学校や地域、国内、海外へと学年、単元が進むにつれて徐々に視野が広がっていく構成になっている。○答えを繰り返したり教えるのではなく、気づかせて答えを見つけるようになっている。○**We Can!** と同じ9単元。語彙、表現、文構造も **We Can!** をベースにしている。○巻末の付録が充実しており、児童がやってみたいと思える仕掛けになっている。○グループやクラスで1つの制作物を完成させる活動を設け、学級経営にもプラスになるような配慮がある。○児童が喜ぶ有名人の写真、似顔絵、漫画の登場人物が活動の挿絵に使われている。さらに、授業中いつでもアルファベットとローマ字表が見られるようにページを折り込んだものが広げられる形になっております。小学校の集大成として最後のレッスンでは **My BOOK** を作成し、中学校での自己紹介での授業でも活用できるようにしています。巻末には、**My World Bank**、他に見つけた言葉を書こう等、資料が豊富にあります。

続いて、光村図書 **Here We Go!** でございます。○ユニットの最終的なゴールとゴールまでの小目標が書かれている。振り返りは巻頭の **Can Do List** と対応している。○振り返りが **CAN DO**=知識・技能、考える=思考・判断・表現力、深める=学びに向かう力・人間性の育てたい3つの力に対応している。○1つのユニットは **HOP**、**STEP1,2**、**JUMP** という構成となっている。○国語の学びを生かし、言葉の使い方を考えるコーナーがある。○モジュール学習に対応できる活動に赤いひし形のマークが付いている。○6年の最後のユニットでは、本物の中学生が英語で学校生活を紹介している映像があり、中学への学習意欲を引き出せるよう工夫している。内容3点でございます。**Let's Watch** でストーリーの映像の一部を見て表現を確かめることから始まっている。世界12カ国で暮らす本物の小学生のインタビューやメッセージが映像で紹介されている。巻末には、水性のマーカーでアルファベットを練習する台紙、シールがついている。以上でございます。

続いて、啓林館 **Blue Sky elementary** でございます。○1ユニットを3パー

ト構成している。1パート（見開き2ページ）を2単位時間の配当にしている。○各ユニットはゴールの設定、聞く活動、自己表現、話す活動、振り返りと同じ構成になっている。○学期末のまとめのページ **review** がある。○「言いたかったけど言えなかった」こと「もっと知りたい」と思ったこと、学習した英語をどのような場面で使いたいについての視点での振り返りがある。○We Can!の配列をほぼ踏襲している。○ALT と打ち合わせをしやすいように指導書に英訳がある。内容3点についてでございます。自己表現のコーナーでは、まず、伝えたいことをメモしてから英語で書けるようになっている。参考にする **word list** のページが書かれている。○理解が難しい前置詞を児童が親しみをもちやすい物語の中で使っている。

会 長 ありがとうございます。御質問でございますでしょうか。一つだけ、いいですか。

新しく小学校、英語ということで、教科書というのは、子どもたちは、配られたとき、表紙が（前）こうくるわけですが、表紙については、話題にのびりましたか。

調査員代表 表紙の構成というか、デザイン的なもの、タイトルに着目した話はでませんでしたが、デザイン的なものは、違いがあるという話はでした。

会 長 デザインの意図がわからない会社もありましたが、わかりました。他にありますか。それでは、ありがとうございました。

＜休憩 15分＞

司 会 次に、小学校「算数」の調査員代表に調査結果の報告をお願いします。

調査員代表 それでは、算数における調査結果を報告いたします。報告の仕方ですが、まず、報告用紙の一番下の総括を説明させていただき、その後、付け足しの説明をさせていただきます。

最初の教科書は発行者番号2 東京書籍「新しい算数」です。スタートカリキュラムが意識されていて、算数が苦手な児童でも取り組みやすい構成になっています。また、教科書の課題の難易度はあまり難しくなく、思考のヒントを提示するなどの工夫もあり、より多くの児童が意欲的・主体的に学べる内容になっています。さらに、対話的な活動が多いこと、結論がひとつではないオープンエンドな問題も記載されていることなど、数学的な見方・考え方を成長させる工夫がたくさんあります。付け足しとしましては、基礎的・基本的な内容を繰り返し学習できるように、スパイラルに単元を配列する工夫もされています。また、学習意欲を高めるために日常事象や生活経験を話題としたり、単元の学習を活用するために、現実の場面で問題解決に活用したりする課題が用意されるなどの工夫も見られます。

2番目は、発行者番号4 大日本図書「たのしい算数」です。「話し合い活動」のやり方をととてもいねいに説明し、話し方・聞き方の学習がきちんとできるようになっています。それによって、主体的・対話的で深い学びを実現できる授業展開が具体的にイメージできるようになっています。また、問題解決学習が展開しやすいように工夫されていますので、思考力・判断力・表現力を伸ばす授業展開も具体的にイメージできます。そして、全体を通して、主体的に楽しく学ぶことができます。付け足しとしましては、十分な問題量が用意されています。特に

特設問題の「読み取る力をのばそう」では、活用する力・読み取る力・表現力・思考力を育成する問題を掲載しています。また、身近な生活場面における問題や疑問を扱い、解決の必要感をもたせる課題を設定しています。

3番目は、発行者番号11 学校図書「みんなと学ぶ 小学校算数」です。教科書のサイズが他社と違います。B5版からAB版になり、横幅が18.2cmから21cmになりました。その結果、適度な隙間があり、見やすく、教科書への書き込みもしやすくなりました。また、単元名が大きなめあてとなっていますので、児童には何を学習していけばよいのかがわかりやすく、基礎的基本的な学習内容が習得しやすい構成になっています。さらに、児童が興味をもって問題解決をしようという課題が多く、数学的な活動を通して、理解をより深められるようになっています。付け足しとしましては、1時間の学習ごとに「知りたいな」「考えたいな」「やってみたいな」という言葉の後に小タイトルを入れ、これから身につける知識・技能を明示しています。また、話し合いの形態を記載し、対話的な学びを勧めています。

4番目は、発行者番号17 教育出版「小学算数」です。児童の問いを中心に学習が展開されるとともに、数学的活動や思考力を養う問題が多くあることで、習得・活用・探求のサイクルを身につけられる構成になっています。また、「知識・技能」と「思考力・判断力・表現力」について、明確に学習内容をまとめています。さらに、児童がつまずきやすいポイントも明確にしており、基礎基本の習熟と理解の定着を図れるように工夫されています。付け足しとしましては、学びのマップが用意されていて既習事項を確認することができるようになっています。また、数学的な見方・考え方を伸ばすために、日々の授業の振り返りをていねいにする工夫や、目的意識をもって数学的活動に取り組めるような工夫もしています。

5番目は、発行者番号61 啓林館「わくわく算数」です。学習した知識や技能を実生活に活用できるような工夫が見られます。また、QRコンテンツにも力を入れています。家庭でも映像を活用しながら、復習や予習を進めることができるようになっています。さらに、課題に対して、論理的・合理的にものごとを処理するための筋道を立てて考える能力を伸ばせる構成になっています。付け足しとしましては、単元ごとにレディネスチェックができるようになっていたり、単元末での「学びのまとめ」では、学びを深める3ステップ「たしかめよう」「ふりかえろう」「やってみよう」で構成されたりしています。また、内容一番下、多様な考え方ができる問題を取り上げ、友達と考えを伝え合い、よりよく解決できるような対話活動を重視しています。

6番目は、発行者番号116 日本文教出版「小学算数」です。児童が楽しみながら算数を学び、実生活に活用したり算数を見出したりできるような内容や活動が設定されています。また、レディネスからまとめまでの問題量が多く、繰り返しの学習を多く取り入れているので、算数の基礎・基本が身に付くような構成になっています。さらに、筋道を立てて考え表現するための学び方をはっきりと示しているので、算数の楽しさを感じられる構成になっています。付け足しとしましては、単元末ではつまずきやすい内容を重点的に取り上げています。また、数学的に表現し、伝え合う活動を取り上げており、問題解決のための思考活動や表現活動について具体的に示されています。さらに、内容下から3番目、児童が教室内外で取り組むことができる作業的・体験的な活動を積極的に取り入れています。報告は以上でございます。

会 長 ありがとうございました。御質問でございますでしょうか。

委 員 問題量の部分ですが、おそらく現行の東京書籍の場合は、比較的問題量が

	多めではなく、大日本図書は充実しているという話ですが、教科書の方に問題量がたくさんある方が望ましいのか、それともドリル等で補完するので、問題量がさほど多くなくても大丈夫なのかのような先生方の御意見が出てましたか。
調査員代表	問題の量よりも質を大切にしたいという話は、ありました。発展的な問題ばかり扱っている、そういうものが多い会社もありましたし、簡単な補完するような問題があつたりというところで、量よりも質という話がでました。
委 員	やはり、基礎的なところをしっかりとカバーしている教科書の方が望ましいのでしょうか。
調査員代表	算数という教科の性質上、個人差が大きくなるというかたちになりますので、それぞれの子供にあつたものが配置されているのが望ましいという感じがします。
会 長	他にございますか。よろしいですか。それではありがとうございました。
司 会	次に、小学校「理科」の調査員代表に調査結果の報告をお願いします。
調査員代表	発行者番号2 東京書籍 一番下の総括の欄をご覧ください。東京書籍では、○学習の流れが一目でわかるようなレイアウトになっています。○単元の導入に紙面を多く割き、日常のことから問題発見につながる話として、イラストで描かれています。主体的に問題をつかむ事ができる構成になっています。○終末で、学んだことを日常生活の事象と結びつけて考え、説明できるようにしています。特徴は、A4版を採用していることです。そして学習の流れが一目でわかるようにレイアウトが工夫されていることです。また、知識及び技能が習得できるようにするための工夫や学びに向かう力、人間性等を涵養するための工夫から、学んだことを使って日常生活や新たな問題を見出すことができるよう工夫されています。 次に、発行者番号4 大日本図書です。総括の欄にありますように、○考察の場面が必ず設定され、児童に科学的な思考を身につけさせられる場面があります。○結果の書き方やまとめ方では、児童のノート形式で示され、参考にしやすいです。○ものづくりや発展資料が豊富で、興味を引き出す工夫があります。特徴は、考えさせる場面の設定です。それは知識及び技能が習得できるようにするための工夫として、問題解決の過程を重視していること。思考力、判断力、表現力等を育成するための工夫として、児童の自由な発想や表現を引き出すための参考になるような工夫がされていること。見通しをもって観察、実験を行うための工夫として、見通しをもった学習に配慮していること。自然の事物・現象についての問題を科学的に解決するための工夫として、「主体的な学び」が実現できるよう配慮されていることです。 次に、発行者番号11 学校図書です。総括にありますように、○単元のはじめに、これからの学習の流れが一目でわかるようになっており、見通しをもって学習することができます。○QRコードを使った資料があり、既習事項の確認や実験方法の確認がしやすいです。○フローチャートの活用により、思考が整理され、考えを深めることができます。特徴は、学習の流れを意識した造りになっていることです。具体的に言うと、思考力、判断力、表現力等を育成するための工夫として、モデル図やフローチャートなどを使っていること。見通しをもって観察、実験を行うための工夫として、巻頭に学習の流れが示され、見通しをもって、問題解決の道筋が分かりやすいこと。そして、自然の事物・現象についての問題を

科学的に解決するための工夫として、問題解決の流れを意識していること。流れを繰り返して学習させていることです。

次に、発行者番号17教育出版です。総括にありますように、○予想する場面や話し合いの場面では、会話や発言など対話的な学びの例が多く示されています。問題や結論など、問題解決学習のポイントとなる箇所は枠や塗りつぶしでハイライトされています。○実験回数が多く設定されており、再現性の高い実験が行えるように配慮されています。特徴は、知識及び技能が習得できるようにするための工夫として、問題解決の過程や観察・実験の結果を的確に記録できるようになっていること。思考力、判断力、表現力等を育成するための工夫として、記録することが重視されており、思考の流れを整理、確認して、思考力が育成されるように工夫されているように、思考の流れに沿って、まとめ方が正確であることです。さらに自然の事物・現象についての問題を科学的に解決するための工夫として、科学的に問題解決できるような配慮がされています。また、重要用語は太字強調し、マーカー処理され見やすいです。使いやすいものとなっています。

最後に、発行者番号61啓林館です。総括にありますように、○説明が簡潔であり、見やすくわかりやすいです。○「まとめノート」として、児童が作成したような構成で、学習した内容を振り返ることができます。○QRコードを使った資料が豊富であり、既習事項や実験方法の確認がしやすいです。特徴は、シンプルな造りで見やすいことです。知識及び技能が習得できるようにするための工夫として、単元末の「まとめノート」が、学習の振り返りを目的として、学習したことを簡潔に、わかりやすくまとめられています。そして資料にあるように、授業の予習・復習や自主的な学習に適した個所にQRコードが配置されていること、巻末に「月の満ち欠けモデル」と「プログラミング用シール」が付いていることです。以上でございます。

会 長 ありがとうございます。御質問でございますでしょうか。

委 員 教育出版で、実験の回数が多いという話があったのですが、やはり多い方が授業としてはやりやすい、子供たちが理解しやすいということはあるのでしょうか。

調査員代表 多い方がよい、悪いという話もありますが、やはり回数を重ねた方が、より正確なデータが出やすいということはあると思います。ただ、出版社によって実際教科書の中で「3回実施できるように」と設定されている教科書と、それが4回設定されている教科書もありました。

委 員 ありがとうございます。

会 長 他にございますでしょうか。

委 員 他の教科もそうなんですが、QRコードが随所にみられるんですが、これは学習効果としては、どんなことが期待できるのでしょうか。

調査員代表 今回、教科書にQRコードが採用されているんですが、スマートフォンやタブレットで読み取ると実験方法や資料などが一瞬に出てきますので、多い出版社のものと、資料集が必要ないかなというくらい豊富に資料がQRコードで示されている教科書もありました。非常に有効であるかなと思います。

委 員 保護者が一緒に活用できるということですか？

調査員代表	家庭でも活用することはできますので。
委 員	ありがとうございます。
委 員	実験についてなんですが、図や写真が多くのとっている教科書というのは、児童が分かりやすいということになるのでしょうか。
調査員代表	そうですね。基本的には、小学校理科の場合、ほとんど初めてさわる実験器具等がありますので、図や写真で丁寧に説明してあるものが多いです。そういう使用の仕方については、巻末にまとめてあり、学年が変わっても、巻末に必ず器具の使い方などが紹介されている出版社が多くありました。
委 員	それはどこですか。
調査員代表	ほとんどの会社が巻末にのっておりましたが、明確には答えられません。
会 長	他にありますか。よろしいですか。それでは、ありがとうございました。
司 会	小学校「生活」の調査員代表、調査結果の報告をお願いします。
調査員代表	それでは、生活科の報告をさせていただきます。 まず、東京書籍 総括のところの一つ目、写真、イラスト、文字の情報量が過不足なく掲載されております。また、レイアウトが各ページ共通して一定であることや教科書自体が大判化され、見やすくなっております。「約束」「手洗い・うがい」などの生活習慣の習得、観察の視点や伝えるための技法などの活動の仕方を、順を追って説明しております。できるようになった時の喜びや良さが具体的に絵や吹き出しで表現されております。自然（植物・昆虫・動物・空の様子等）を実物大で、さらに拡大して写真掲載し、本物を楽しく知るための工夫がされ、児童の興味関心を高める工夫がされています。以上東京書籍です。 次に大日本図書です。語彙力を身につけるために、触れる・聞く・嗅ぐなどの五感を働かせることを重視しております。季節単位で単元を構成し、その中において内容の横断化を図りながら学習を展開できるようになっているので、弾力的な学習展開ができ、教師の工夫が生かせる教科書であります。右ページ右端に様々な特集（きらきらことば、花が咲く様子、色のなかま、冬ごよみ等）が文字やイラスト、写真を使って組まれており、語彙を増やしたり、知識を増やしたりすることができます。単元が上巻4つ、下巻5つの構成でできている。植物の観察では、その単元の中で季節の様子と植物の成長をリンクさせながら学ぶ構成になっています。 続いて学校図書です。○単元内の学習過程が、どきどき(出会い)→いきいき(体験)→ふむふむ(まとめ・発表)→にこにこ(振り返り)という流れでどの単元も構成されていたり、巻頭目次に年間学習計画が示されていたりすることにより、児童も教師も今どの段階の学習をしているのかを確認しやすく、また、自己の成長をその都度振り返りやすい教科書です。掲載されている全てのワークシートに教師の評価例(朱書きコメント)が記載されていたり、発表場面を想定した板書例が単元ごとに工夫されて掲載されていたりするなど、教師にも指導の参考になる教科書であり、活用度は総合的に高いと言えます。おもちゃづくりの単元ですが、内容(6)のおもちゃの作り方の説明が分かり易く、児童自身での例示を参照が可能です。学びを作文や手紙に書いて学習関係者と共有する活動や、人権やユニバ

ーサルデザインの視点での学びを写真やイラストで示すなど、幅広い学習活動を提示しています。

続いて教育出版です。児童の自立をねらいとした指導が、さいころ内の「きづく」「自分でできる」「考える」「伝える」「挑戦する」「自信をもつ」の表記により意識的にでき、子供につけさせたい力をぶれずに指導できます。思考ツールを使った板書例が單元ごとに示され、思考を組み立てたり整理したりする活動がイメージ化しやすくなっています。「満足はしご」により満足度をはかり、活動への意欲や自信などの自己評価ができる。学習過程のどの場面でも応用して使える評価ツールであります。上巻では春から夏の生き物に野鳥を取り扱ったり、17種のどんぐりを写真掲載したり、「のはら」という言葉を使って「のはらカレンダー」を見開きで扱い、春夏秋冬の比較をさせたりして、気付きを広げ深める工夫をしています。

続いて光村図書です。各單元最初のページの左端に、例えば「ホップ・見つける」「ステップ・そだてる」「ジャンプ・もっとやってみる」というように、児童に分かり易い言葉で学習活動を示し、意識化できるようになっている。また、掲載されている児童のつぶやきや言葉をうまく体験と組み合わせることにより、学習効果を上げることができます。各單元が「ホップ（みつける）」「ステップ（やってみる）」「ジャンプ（つたえあう）」の3段階で構成されており、主体的に意欲を持たせて活動させる工夫があります。おもちゃ作りの單元では、「つむ」「ならべる」「ころがす」「ふく」「はじく」「たたく」「こする」「とばす」等の言葉と写真を示し、主体的な活動に導いています。イラスト表記が中心である。つぶやきや吹き出しなどに書かれている文は、二文のものや長文のものもあり、理解力が必要になる場合もある。問いかけや共感的な言葉がけの表記・表現になっています。

続いて、啓林館です。大單元最初の見開きページの写真で期待感を与え、次の見開きページの「わくわくボックス」で学習対象を写真で数多く紹介し、次のページから具体的な行動に入っていくという流れで作られており、学習過程が自然で、子供にも分かり易いです。「こんなときどうしよう」においてイラストで困る場面を示し、思考や判断をさせながら活動を継続させる工夫がされています。ページごとに「〇〇かな。〇〇したいな。」などの課題を投げかける文があり、関心を高めながら具体的な活動に導く工夫がされています。QRコードが單元最初のページに表示されている。動画や音声コンテンツを活用して意欲付けを図り、映像体験を通して気付きを深める工夫がされています。

最後に、日本文教出版です。1枚の中に情報量が多い写真を使っていて、様々な情報が集まっている。春夏秋冬の学校と公園の様子を見開きページでうまくまとめたり、鳥瞰図を使って町の様子や公共施設の建物内をイラスト表現するなど、見て楽しい構成になっております。どの單元にも黒板で思考ツールを使いながら学習する場面のイラストがある。グループによる対話的な活動が描かれ、吹き出しの言葉が思考や判断の助けになる。教師にとっても学習の流れの参考になります。「ちえとわざのたからばこ」が上巻に20ページ、下巻に24ページあり、他教科との関連を図った資料や、実生活における環境・福祉・食育・防災などに関連する資料など幅広く掲載している。ザリガニのかわりにメダカを採用しております。以上です。

会 長 ありがとうございました。御質問ございますでしょうか。

委 員 いくつかの会社で、板書書きになっているものが入っているという話があったんですが、子供にとっても入っていた方が見やすいのでしょうか。

調査員代表	そうですね。子供が見ている板書と、教科書にある板書が、同じであると、実体験ができる効果があると思います。おおかたすべての会社に入っていると思いますので、それが板書だったり、大型ディスプレイだったりという変化はあると思います。
委員	ありがとうございます。
会長	他にございますでしょうか。よろしいでしょうか。ありがとうございました。
司会	小学校「音楽」の調査員代表、調査結果の報告をお願いします。
調査員代表	それでは、教育出版から説明させていただきます。魅力的な題材や楽曲が使われていることが多いので、児童も教師も興味を持ちやすいのではないかと考えています。一方で、少し専門的な内容も取り上げられていることもあり、学級担任が教えられるという点では検討する必要があると考えられます。これは、それだけ選択肢があるということだと考えております。紙面が特別支援教育の視点に立った配慮や、色覚特性を持った児童に配慮されており、著作者の名前にふりがながふられています。作曲者などとても大切にしている会社だと思いました。歌唱・器楽・鑑賞・音楽づくりが、同じ系統の音楽の中で、一連の流れで配置されてとても使いやすいと思いました。表現をさらに工夫するために、「もっとあそぼう」や「学び合う音楽」などのコーナーがあり、リズム伴奏の例や他の楽曲を載せて表現の工夫につなげられるようにしています。透明なシートにより、具体例が記されたり、正解が記されるなど、工夫されていてわかりやすく、ポートフォリオ等、友達と共有しながら学びを深めることができるようにする工夫がされています。これは、教師として、評価がしやすいと考えました。「につぼんのうた・みんなのうた」では、折り込み頁を開くとA4を3頁分使った見開きの写真になり、美しい日本の情景を味わい、楽曲の表す情景や曲想を思い浮かべられるよう工夫されています。 続いて、教育芸術社です。教材に使われている絵は色彩が良く、イメージをふくらませて表現したり鑑賞したりすることができる、音楽の学習に関連した情報が添えてあり、児童の関心を高める工夫があります。見やすさ、まとめり、ポイントを絞った提示の仕方などの点において、学級担任でも教えやすいのではないかと考えられます。活動手順が具体的に記されていて、わかりやすく、図や写真が効果的に使われています。音楽づくりで、グループでの話し合いや、インタビューをするなど、他者とのかかわりの中で学び合う内容が多く、協働的な学びを意識した教材が掲載されて、とても有効であると考えております。「こころのうた」では、曲の雰囲気や歌詞の内容を表すような情景の写真が見開きで載せられ、曲想が想像しやすくなっています。鑑賞教材で学習する作曲家等の説明について、全学年統一して巻末にまとめられています。説明は、以上となります。
会長	ありがとうございました。御質問ございますでしょうか。それでは、ありがとうございました。 ここで、15分間休憩します。再開は 11時10分とします。 ＜休憩 15分＞
司会	再開いたします。 小学校「図画工作」の調査員代表、調査結果の報告をお願いします。

始めに、発行者番号9 開隆堂出版 について申し上げます。全体的に、色鮮やかな印象です。(3, 4年(下)P42, 43「版画」 日文P54, 55は黒一色) 紹介されている作品もカラフルなものが多く、児童の制作意欲が湧く工夫がされています。(5, 6年(上)P22, 23「ワイヤー」 日文P30, 31は針金のみ) 各題材については、一つの作品を丁寧に作り込んでいくものが多く、段階を踏んで絵の具の使い方を学んだり(1, 2年(上))、前の学年の学習を発展させた題材があったりと、積み重ねてきた技能を生かした作品作りが経験できます。また、各題材のめあてが焦点化されており、伸ばしたい力が明確になっています。(重点は、文字の色を変えてアンダーライン付き) 内容についてですが、思考力・判断力・表現力を育成するための工夫として、各巻に個別のタイトルがつけられていて(1, 2年(下)「みつけたよ」)、そのタイトルと連動した巻頭ページや「ひらめきコーナー」のページで発想を広げる工夫(1, 2年(上)紙を折る、丸める)がされています。学びに向かう力・人間性を涵養するための工夫として、相手意識のある題材が多く設定されていたり、異学年(5, 6年(下)P26紙芝居)や地域との関わり(3, 4年(上)P48)を意識した活動例が紹介されていたり、他教科(1, 2年(下)ページ下部「あわせて 学ぼう」)や読書活動との関連(3, 4年(下)P26)を意識した題材も掲載されています。表現及び鑑賞に関する資質・能力を相互に関連させた学習を充実させるための工夫としては、鑑賞する対象を芸術作品に限定せず、日常生活や身の回りのものも取り上げ、造形に対する見方・考え方を広げる工夫がされています。その他、開隆堂出版のHPにつながるQRコードが各題材についていて、参考作品や動画を見ることができたり、3年生以上の教科書には、外国語活動・外国語を意識して道具名等の英語表記が掲載されていたりします。全体として、身に付けさせたい力が、バランスよく、まんべんなく取り扱われている教科書であるという調査結果となりました。

次に、発行者番号116 日本文教出版 について報告いたします。全体的に、参考作品の色をおさえたものが多く紹介されており、素材の質感や触感を大切にしている印象です。(1, 2年(下)P36, 37「はさみの あーと」モノクロ) 各題材は、身に付けさせたい力を焦点化せず、児童の思いを重視した自由度の高いものが多く掲載されています。(3, 4年(上)P18, 19「わたしの 6月の絵」) 失敗を恐れず、材料を生かして色や形、模様などを色々と試していくうちに、だんだん作品になっていくという感じの題材が多く、技法についても、一つの題材で複数選択できるようになっています。(3, 4年(下)P30, 31 粘土「元気のおまもり」) 内容についてですが、思考力・判断力・表現力を育成するための工夫としては、作品の完成度よりも制作過程を楽しむ題材が多く、失敗を恐れずに思考できる工夫がされています。また、「ひらめきポケット」というページで、発想のヒントが例示されています。学びに向かう力・人間性を涵養するための工夫としては、相手意識よりも自分自身の思いとしっかり向き合う題材が多く扱われています。(5, 6年(下)P30, 31「感じて 考えて」) 表現及び鑑賞に関する資質・能力を相互に関連させた学習を充実させるための工夫としては、開隆堂出版と同様、鑑賞する対象を芸術作品に限定せず、日常生活や身の回りのものも取り上げています。その他、各題材名の下にリード文を付け、題材の意図を補うようにしていること、参考作品に使用する文字は青色というように、文字の色を使い分けしていること、参考作品には、工夫だけでなく作者の思いも紹介するようにしていることなどの工夫が見られました。全体として、子供の思いや発想を第一に考え、技法等をあまり制限せずに制作に取り組ませる、自由度の高い教科書であるという調査結果となりました。以上でございます。

会 長	ありがとうございました。御質問ございますでしょうか。よろしいでしょうか。
司 会	小学校「保健」の調査員代表、調査結果の報告をお願いします。
調査員代表	それでは、小学校保健の報告をさせていただきます。まずは、H32 小保の2ページをご覧ください。発行者名 東京書籍株式会社 番号2番についてでございます。全体的に明るい印象があります。なお、ページ数が多く、情報も豊富です。記述欄が多く、学習ノートとしての機能もあわせ持っております。一方、記述することに時間を要することも考えられます。また、指導者が、1時間の学習内容のどこに重点を置くのか、バランスよく設定しなければ、授業時間が増えてしまうことも考えられます。他教科との関連性も丁寧に示されており、カリキュラムマネジメントの位置付けが図られております。内容を若干補足させていただきます。知識及び技能が習得できるようにするための工夫としましては、どの単元も学習の進め方が統一されており、スムーズな学習展開が期待されます。学びに向かう力、人間性等を涵養するための工夫につきましては、深める、伝える学習があり、日常生活を想定しながら、より実践的に考えることができる内容となっております。資料につきましては、インターネットを活用して、動画を視聴できるような工夫がされております。標記・表現につきましては、問いかける表現が多数盛り込まれておりますが、とても丁寧な表現がされております。 続きまして、H32 小保3ページをご覧ください。4番、大日本図書株式会社でございます。こちらの教科書につきましては、ページ数も少なめで、全体的に落ち着いた印象がございます。記述スペースが限られており、思考場面に重点が置かれております。一方、大切な部分のおさえというところが若干弱くなってくるところが懸念されます。学習の展開につきましては、とてもわかりやすく設定されておりますが、教師がまとめの段階でポイントをしっかり押さえておかないと、評価するときに少し難しくなるという形が見られます。内容につきましては、補足をさせていただきます。学びに向かう力、人間性等を涵養するための工夫の2点目として、各単元のはじめに、見開きの日常的なイラストがあり、単元の学習内容を想起させることにつながっていることが特徴です。生涯にわたって健康を保持増進する資質・能力を育成するための工夫としましては、他教科、他学年とのつながりが明記されております。「ともに生きる」という形で明記されており、こちらも特徴的です。資料につきましては、体育科の他領域との関連資料が充実しています。表記・表現につきましては、3点目として書いております、表記が最低限におさえられていることによって、ページ数が若干少ないというところで、取り扱いはしやすい教科書となっていると思います。 続きまして、H32 小保4ページ、207、株式会社文教社でございます。表紙の写真が鮮やかな教科書となっております。内容におきましては、学習の流れが明記がないため、教師の幅広い指導法というのが生かされるものとなっておりますけれども、若干戸惑いを感じる教員もいるかと思います。5、6年生の教科書は、各情報についての解説がとても丁寧に載っています。その分、5、6年生の教科書は、全体的に文字数が多く感じられる教科書となっております。思考力、判断力、表現力等を育成するための工夫におきましては、「話し合ってみよう」が豊富に設定されております。そのために、グラフなどの資料が見やすく整理されております。資料としましては、全体的に資料が大きく見やすくなっております。表記・表現につきましては、脚注にある、「つぶやきくん」というコーナー

があり、そういったところで補足をしたり、そのあとの今後の活動につながっていくようなことを説明が書かれており、そういった広がりも期待されるような構成になっております。

続いて、H32 小保5、208番、株式会社光文書院でございます。全体的に落ち着いた印象ですが、見開きページの完結型、という形になっておりまして、学習課題は非常に把握しやすくなっています。また、情報が豊富で、さらに詳しく記述がされています。書くスペースが広く確保されており、付属の資料が充実しています。これはデジタル教科書等の使用ということになります思考力、判断力、表現力等を育成するための工夫の思考させる学習場面に、必ず記述できるスペースがあるということが特徴的なところかと思えます。また、健康・安全についての理解を深めるための工夫として、QRコードから動画が見られる、デジタル教科書からも見られます。インターネットにいかずとも見られるということが利点かと思われます。生涯にわたって健康を保持増進する資質・能力を育成するための工夫については、発展資料が全体単元にある、これについては学習の広がり期待できることです。表記・表現につきましては、ひとつ目、「学習課題をつかむ」「課題解決学習」「まとめ」それからの「活用」という形で、展開が、児童だけでなく教師もわかりやすい形となっております。また、小学生には難しい用語や資料には、解説等も記載されており、非常にわかりやすい説明がされております。

続いて、H32 小保6、株式会社学研教育みらいでございます。先程と同様に、全体的に落ち着いた印象ですが、ページ数に無理がなく、学習時間の確保がしやすい内容となっております。考えて、調べて、話し合うなど、教材活用の流れがわかりやすい形となっております。また、災害だけでなく、予防の観点から、ミサイルに関する情報等も取り上げている教科書でございます。学びに向かう力、人間性等を涵養するための工夫につきましては、実習の学習があり、日常生活を想定しながら、実践的に学習できるという配慮がなされております。健康・安全についての理解を深めるための工夫につきましては、「かがくの目」の資料から、体やウイルスの構造が把握しやすく、説得力がある構成になってございます。資料につきましては、一番最後に記述させていただきました、資料、絵、図が、多めに配置されており、児童が関心を持って学習できるようになっております。表記・表現につきましては、色、文字、写真、イラストのバランスがとてもよく配置されてございます。以上でございます。

会 長 ありがとうございます。御質問でございますでしょうか。

委 員 光文書院でございますが、先ほど説明がありました発展資料が全単元にあるということですが、他社に比べて発展資料が一番多く、大体他は13～14に対して26ありますが、内容についても例えば3、4年生の教科書ですと性の悩みで、性と心、性の違いについてなど挙げていて、寄り添いホットラインなども掲載されておりました。また5、6年生では、ストレスとか歩きスマホの危険性等、とても多い情報が入っていていいものだと思うんですけど、一番最初に説明がありました東京書籍で授業時間が増えてしまうという話もありましたが、保健という部分で年間の授業時間にすると多くはないと思うんですが、こういった良い情報の取扱いについて、子供たちに情報を与えられる時間はあるのでしょうか。

調査員代表 学習については授業の実態もありますので、学習の中で今主体的・対話的で深

い学びということもございますので、その学びの中で子供たちの課題意識の中からどの資料を選ぶとその課題を解決できるかという選択肢としてあると考えます。そういった中で光文書院については、そういったところの選択肢としてたくさんあるのかなと思っております。特に高学年については、3年生以降になるので子供たちが主体的に学んだときにその実態、クラスの課題に応じてどれだけ資料を選べるのかなという意味では、そういったことでは充実しているのかなと捉えさせていただきました。

委員 ありがとうございます。

会長 他にありますでしょうか。よろしいでしょうか。ありがとうございます。

指導主事 小学校「家庭」の教科担当 教育委員会 指導主事に、調査結果の報告をお願いします。

まず、東京書籍株式会社については、実践的・体験的な活動を通して、学習したことを家庭や生活の中で活用できるように配慮されています。字体が教科書体ではなく、ユニバーサルデザインフォントとなっていたり、左利き用の写真が多数掲載されたりと、ユニバーサルデザインを意識した作りになっています。

記述については、報告書の1つめの○にあるように、イラストや写真で基礎的・基本的な技能が目で見えてわかるように載っています。また、「できた」をチェックする欄があり、自分の技能の定着が確認できるようになっています。報告書2つめの○にあるように、「学習の流れ」が3項目で構成されています。その3項目めが「やってみよう」という家庭での実践を促すような内容になっており、4つめの○にあるように、たくさんの実践例や活動例が示されていることで、家庭や生活の中で活用できるよう配慮されています。

資料では「プロに聞く」「日本の伝統」「日々の備え」「環境」など、マークとともに豊富な資料があります。表記・表現では、文字がユニバーサルデザインフォントで筆記され、基礎基本となる用語はブロック体太字で目立つようになっています。カラーバリアフリーなどユニバーサルデザインを意識した作りになっています。他にデジタルコンテンツや、英単語表記など多様なニーズに対応した作りになっています。

次に、開隆堂出版株式会社については、問題解決的な学習を繰り返し、系統的な学習を進めることで、基礎的・基本的な知識及び技能が着実に身に付けられるように工夫されています。他教科との関連が多く、縦と横のつながりが把握しやすいです。「チャレンジコーナー」や「課題例」で家庭での振り返り、取組がしやすいようにしています。写真が見やすく工夫されています。

記述については、報告書にあるように、基本的な手順を多くの写真で掲載しています。難易度別に制作例を挙げ手順が示してあることにより、一人一人の能力に合った個別の作品に取り組むことができます。例えば、ミシンでソーイングの制作例は星の数で難易度を示してあります。また、ゆでる野菜では、いろいろな野菜のゆで方を示し、選択の幅があります。「できた」をチェックする欄の項目が具体的でわかりやすくなっています。また、生活の営みに係わる見方・考え方を「4つの視点」として教科書全体にわたりマークやイラストで配置し、見方・考え方を学びの中で働かせられるようにしてあります。他教科との関わりについての表記が多く、知識をつなげることができます。さらに、各題材にQRコード

が記載され、主体的に取り組めるようになっていきます。チャレンジコーナーは環境や防災、伝統文化を取り入れています。

資料は、伝統食やプログラミング教育等、現代的な話題の資料を提示しています。表記・表現では、カラーユニバーサルデザインの観点から、写真が白地だけでなく色がついている物もあります。どの写真も画像がはっきり見える色使いです。裏表紙に「野菜の切り方」が掲載されているので、調理実習中に児童が確認しやすくなっています。

どちらも写真やイラストが豊富で、実技の部分では充実していますが、教育出版は写真の下地の色と写真の色が同系色のものが多くぼやけるところがあります。開隆堂は写真がはっきり見えるよう、下地の色を工夫しています。

教育出版の写真には、鍋がゆがんでいるものがあります。「いつもたしかめよう」の写真は実物大でよいです。開隆堂出版の野菜の切り方の写真は裏表紙にあるので、実習中に開いたページが閉じてしまうことがなく便利です。QRコードは、教育出版はページにはマークのみで、QRコードは一番前のページのみです。開隆堂出版は各ページにあります。他教科との係わりに関する記述は開隆堂出版のほうが充実しています。英語表記は教育出版はイラスト入りでわかりやすいです。開隆堂出版は日本語と英語で表記されており、意味が分かります。以上でございます。

会 長 ありがとうございます。御質問ございますでしょうか。

委 員 (質問なし)

会 長 よろしいでしょうか。それでは、ありがとうございます。以上で午前の予定が終了しましたので、この後のことについて事務局から説明をお願いいたします。

事務局 午前の部について、予定通り終了することができました。ありがとうございます。この後の日程ですが、昼食休憩となります。お弁当を御用意させていただきましたので、第2委員会室に御移動ください。こちらの部屋は、一旦施錠させていただきます。午後の部は、12:45分から開始しますが、10分前には開錠させていただきますので、よろしくお願いいたします。

<昼食・休憩 60分>

会 長 午後の部を開始します。中学校 国語・書写から順次、調査結果の報告をお願いします。

事務局 それでは、国語・書写の調査結果について、指導主事が行います。

指導主事 国語科の2東京書籍でございます。全学年7つの単元と「基礎編」「資料編」で構成しております。「読むこと」では、「読み取る」「考えを深める」の2段階の学習課題を示しています。それぞれの教材で身に付けたい知識・技能のポイントを「言葉の力」で示して3年間で系統的に積み上げさせるようにしており、「学びを支える言葉の力」で他教科との学習のつながりや生活とのつながりを意識しています。

1 1 学校図書でございます。全学年5つの単元と「言語の学習」で構成している。「読むこと」では、「読む前に」「読み深める」「まとめ」の3段階の学習課題を示して教科書に書き込める欄を設けており、「ついた力を確かめよう」では各自の学習の成果を確認する設定になっております。学習者に応じた学習活動が可能となるように各単元に教材や活動の選択・再構築をするための選択教材を設けています。

1 5 三省堂でございます。中1・2は7つの単元、中3は6つの単元の「本編」と、「資料編」で構成しております。「読むこと」では、「内容を整理しよう」「考えを深めよう」「学びを広げよう」の3段階の学習課題を示しています。「何をどのように読めば力がつくのか」という17の読みの方略を図解で示し、それぞれがどんな言語活動の場面で活用できるかを説明しています。

1 7 教育出版でございます。中1・2は8つの単元、中3は7つの単元と、言葉と文法、漢字、言葉の自習室で構成しています。「読むこと」では問題解決の道筋に沿って学習を進めさせるように「確かめよう」「深めよう」「考えよう」の3段階の学習課題を示しています。「学びのチャレンジ」で、思考力・判断力・表現力等を高めさせるために、教材の発展的な問題を設けております。

3 8 光村図書出版でございます。全学年7つの単元と巻末の文法・漢字・資料・付録で構成しています。「読むこと」では、「確認しよう」「読みを深めよう」「自分の考えをもとう」の3段階の課題を示し、「学習を振り返る」で学習の成果を確認させるようになっています。言語活動で身に付けた言葉の力を日常生活や社会生活で生かせるように「生活に生かす」「他教科に生かす」を設けております。現在の教科書の使用感でございますが、研究授業においても、授業者の取り組む様子から教材研究を深めやすい教科書となっております。

続いて、書写になります。書写の2東京書籍でございます。ABの判型です。巻頭の「学習のはじめに」で「これから学ぶこと」を示し、「姿勢・筆記具の持ち方」が大きな写真イラストで示しています。毛筆で学習したことを硬筆の学習で確認・発展させるように構成しております。毛筆の教材には、同じページに「書くときのポイント」を示して参照させるようになっています。書写で学習したことを日常生活に生かすための教材を用意しています。教材に関連する内容を「しよしゃのつぼ」「しよしゃのたね」で紹介しています。

1 1 学校図書でございます。B5変型の判型です。毛筆の主たる手本を見開き2ページで示しています。学習の目標や振り返りのポイントを簡潔に示し、毛筆の学習で学んだことを硬筆で確かめ、硬筆の学習に生かすように構成しております。また、書写の学習をどのように生活に生かすかは、3年の学習でまとめて取り組ませる構成になっております。「書写の窓」で鑑賞ページや発展的な内容を紹介しています。書き初めの手本は、各学年の最後に別々に掲載しています。

1 5 三省堂でございます。B5の判型です。学習の初めに目標を踏まえて、「考えよう・話し合おう」という活動を設けています。各単元が、毛筆で学習したことを硬筆の学習で復習させ、生活に生かすという流れで構成しています。また、見開き2ページの右に指導事項、左に毛筆手本を示す形で構成しています。3年の末尾には「三年間で学んだ書写技能」があり、中学校の書写学習を振り返らせることができるようになっています。資料編で多様な「日常の書式」をまとめて紹介しています。

17 教育出版でございます。B5の判型です。巻頭の「目的に合わせて書こう」で「書く目的」ごとに「どんな力を身に付けるか」を示しています。各学年の初めに改めて目次のページを設けております。見開き2ページの右に毛筆手本、左に「目標」「考えよう」等の学習項目を示しています。書写で学習した内容を日常生活に生かす学習は2年の単元としています。発展的な内容や資料は、教材と教材の間のページに掲載し、歴史上の人物や文学者の肉筆を紹介しています。

38 光村図書出版でございます。B5の判型です。各単元の教材が見開き2ページにまとめてあります。毛筆で学習したことを硬筆で生かして書かせる構成になっております。「学習の窓」で学習のヒントを示し、基礎・基本を身に付けさせるようにしています。「コラム」には、書写に関する知識とともに、硬筆で楷書と行書をともに書かせる教材も取り上げています。全体の約半分のページにあたる後半は資料編であり、「日常の書式」や書写で学習したことを生活に「活用するヒント」をまとめて掲載しています。現在の教科書の使用感でございますが、説明が丁寧であり、教科の学習が苦手な生徒にとって分かりやすい構成となっています。以上です。

会 長 ありがとうございます。

事務局 次に、社会・地図の調査結果について、指導主事が行います。

指導主事 社会科（地理的分野）の2東京書籍でございます。学習課題について写真、グラフ、地図などの資料を使って考え、まとめをすることで 基礎的・基本的な知識・技能の習得を図っております。「地理スキル・アップ」「調査の達人」によって読図や作図などの技能を高め、「確認」や章末のみんなで考えるページで、思考力・判断力・表現力等を高めるようになっております。

17 教育出版でございます。学習課題の提示や写真・グラフなどの諸資料、作業学習などにより、基礎的・基本的な知識・技能の習得を図るとともに、発展的な課題の提示や「ふりかえる」によって、個に応じた学習が進められるようになっております。また、「見てみよう」「読み解こう」で資料の読み取りや活用の力を、段階的に高められるようになっております。

46 帝国書院でございます。学習課題について、考える視点を明らかにしながら、写真、グラフ、地図等を使って考え、「学習をふりかえろう」でまとめて、基礎的・基本的な知識・技能の習得、思考力の育成等を図っております。未来の社会をつくるための取組を、共生・環境・防災というコラムとして掲載し、社会に寄与する態度を養うようになっております。

116 日本文教出版でございます。学習課題に対して、写真、グラフ、地図などの資料を使って考え、「学習の確認と活用」により基礎的・基本的な知識・技能の習得を図っております。「地理プラスα」で現代のトピックスを伝え、「自由研究」で補充・発展的な学習を行わせ、個に応じて、主体的に学習するようになっております。現在の教科書の使用感でございますが、研究授業においても、授業者の取り組む様子から教材研究を深めやすい教科書となっております。

社会科（歴史的分野）の2東京書籍でございます。「私たち歴史探検隊」では「身近な地域の歴史」を調べることを通して、社会の形成者としての資質を養っ

たり、現代の事例を通して、身近な地域の将来について提案する活動を設け、社会参画への意識を高めたりするよう配慮されております。

17 教育出版でございます。「未来をひらくために」では、これからの社会を築いていくために、自分たちが社会とどのようにかかわればよいかを考察させ、主体的に社会の形成に参画し、その発展に寄与する態度を養うよう配慮されております。

35 清水書院でございます。見開き資料やコラムでは、民主主義や基本的人権、男女の平等など、先人たちの努力によって歴史的に獲得されたものであることが記述され、社会に主体的に参画することの必要性が理解できるように配慮されております。

46 帝国書院でございます。「羅針盤」マークのコラムは、「自然」、「人権」、「交流」、「平和」の4テーマからなり、それぞれの資料から未来の社会をつくるために必要な知識を学び、新しい社会に合わせたしくみやモデルを創り上げていけるように構成されております。

116 日本文教出版でございます。「歴史を掘り下げる」では、今日の歴史的背景を解説したり、「先人に学ぶ」では生活の向上や文化の発展などに寄与した人物を取り上げたりして、歴史に学び、そこから自分たちの生き方に生かしていく態度を育てられるようになっております。

225 自由社でございます。コラムにおいては、特に、規範意識、公正な判断力、公共の精神にかかわる教材の選択を重視し、公共の精神に基づき、主体的に社会の形成に参画し、その発展に寄与する態度を養うことに配慮されております。

227 育鵬社でございます。「人物クローズアップ」では、「献身」、「公共」、「勇氣」、「勤勉」などの美德を体現した人物や、国家や人生の岐路において道を切り拓いた人物を紹介し、自分たちの生き方に生かしていく態度を育てられるようになっております。

229 学び舎でございます。世界史に関する内容の教材や、その時代を生きた人々の姿を学ぶことによって、生徒が国際的視野に立ち、平和で民主的な国家及び社会を形成するための意識を高められるように配慮されております。現在の教科書の使用感でございますが、研究授業において、授業者の取り組む様子から、教材研究を深めやすい教科書となっております。

社会科（公民的分野）の2東京書籍でございます。学習課題に対して、本文、資料等によって基礎的・基本的な知識・技能の習得を図り、「確認」等でそれらを定着させるようになっております。また、個人やグループで行う作業や活動をまとめた「公民にチャレンジ」や調査学習を進めるうえでの基礎的・基本的な技能を身に付ける「調査の達人」、本文中の内容を詳しく説明したり、関連する内容を取り上げたりする「公民にアクセス」といったコーナーを設けることで、学習内容を深め、主体的に学習を進めるようになっております。

17 教育出版でございます。「公民の学習を始めるにあたって」の中で、公民で学ぶ内容、学び方、公民のノートづくりについて示されております。また、挿絵の人物を通した発問などを示して、興味や関心を高め、学習課題へ迫るために、きっかけとなる資料を「見てみよう」の解説文とともに紹介しております。さらに、学習内容に関連するコラム「公民の窓」や学習内容を深化させるための「読

み解こう」、「ふりかえる」では、生徒が課題意識をもって取り組み、思考力等を高めるようになっております。

35 清水書院でございます。各編の最初に、学習内容に関連する人物の言葉が掲載されております。また、特設ページ「もっと知りたい公民」では、学習内容に関連するテーマを図版や写真を用いて解説しております。さらに、学習内容の深化を図るため「深める公民」を設けております。本文中には学習目標や補足説明を記号で示し、学習内容の確認ができるようになっており、最後に地理、歴史、公民的分野のまとめとして、「もっと知りたい公民」の中で「卒業論文を書いてみよう」という課題ページを設けております。

46 帝国書院でございます。巻頭では、公民的分野の学習について「年齢に応じてできること」や「夢に向かって」で示されております。各部の始めに「学習の前に」を示し、学習内容についてイラストや写真を見ながら、身近な出来事と結び付けて考えさせております。また、未来の社会をつくるために参考になる取組を紹介するコラムには、「羅針盤マーク」がついており、少子高齢化、情報化等について紹介されております。授業の後に活用する「確認しよう」「説明しよう」では、基礎・基本の定着と言語活動の充実を図っております。

116 日本文教出版でございます。各編の始めに導入ページがあり、編の学習の基礎となる考え方を示しております。本文中には、導入資料とそれに関係する問いかけが設けられ、学習課題につなげております。言語活動のコーナー「読み取ろう」、「考えよう」、「伝えよう」では、図版の内容を読み取ったり、読み取ったことを基に思考・判断・表現したりする活動を示しております。また「チャレンジ公民」や「公民プラスα」などの特設ページやコラムを設け、学習内容の深化が図られております。

225 自由社でございます。各単元の重要語句は太字になっており、すべて巻末の索引に登録されております。各章の最後にある「学習のまとめと発展」では、各単元の最重要語句を掲示し、基礎・基本の定着が図れるようになっております。また、「もっと知りたい」では、写真や図表を示し、学習内容の深化が図られ、「ミニ知識」では、本文の学習する内容を補充できるようになっております。さらに、これらの基礎的・基本的な知識を活用するために、言語活動を設け、表現力を高めるようになっております。

227 育鵬社でございます。最初に「なぜ『公民』を学ぶのか？」が掲載されており、「人生モノサシ」では、自分の将来設計について考えさせております。各章にある「やってみよう」や「理解を深めよう」では、学習内容を深化させる調べ学習を行うための資料が掲載されております。各章のまとめでは、「学習のまとめ」を設置し、重要語句や基本的事項の確認ができるようになっております。各章の導入に、学習内容の趣旨をとらえさせる言語活動の見開きを設け、学習内容への興味・関心を促すようになっております。現在の教科書の使用感でございますが、主任研修会等でも現在の教科書をうまく活用して、授業を行うことができるものとなっております。

社会科（地図）の 東京書籍でございます。西アジア、環地中海の一般図、江戸時代の大阪の詳細図、環境問題や国際協力等の資料を掲載し、歴史・公民的分野との関連付けを図っております。地図中の赤色の文字を白色で縁取りしたり、ふりがなをゴシック体としたりする等の工夫をし、色覚に特性をもつ生徒を含

め、すべての生徒が判別して読めるように工夫されております。また、主体的に社会に参画する意識や態度を養えるように、具体的に社会参加をしている人の姿や、防災・安全といったこれからの日本について考える資料も掲載されております。

4 6 帝国書院でございます。江戸時代の東京などの地図や鳥瞰図「本州中央部」に五街道とその全宿場が掲載されていたり、国際機関への参加国を示されたりして、歴史・公民的分野との関連付けを図っております。また、地図中の赤色の文字を黒色で縁取りしたり、小さい文字を白色で縁取りしたりして、色覚に特性をもつ生徒を含めすべての生徒が判別して読めるように工夫されております。さらに、社会参画への意識や態度を養えるよう、学習課題「やってみよう」を設け、生徒自らが社会的諸課題について考えたり、話し合ったりできるような工夫がされております。現在の教科書の使用感でございますが、主任研修会等でも現在の地図をうまく活用して、授業を行うことができます。

会 長 ありがとうございます。

事務局 次に、数学の調査結果について、指導主事が行います。

指導主事 数学科の2東京書籍でございます。巻頭「学習の進め方」では、見通しをもって学習が進められるような教科書の使い方や、「数学マイノート」ではノートの記述例が示されております。各節に、基礎・基本が身に付くように「例」「たしかめ」「問」が配列されており、数学のトピックスとして「数学のまど」、社会や職業において数学を活用させる「社会とつながる」などが示され、主体的な学習が展開されるように構成されております。

4 大日本図書でございます。巻頭「ノートのつくり方」では、ノートの書き方の工夫が例示されております。学習した内容の定着を図るため、節末「練習」、章末「章の問題」や「いろいろな問題」など、繰り返し練習するように設定されており、章末には、数学を学ぶことのよさを味わえるように「社会にリンク」が、巻末には、数学を深めることができるように「Mathful」が示され、主体的な学習が展開されるように構成されております。

1 1 学校図書でございます。巻頭「目次」や各領域「ふりかえり」では、既習事項との関連が示されております。また、基礎・基本の定着を図るための「確かめよう」や「計算力を高めよう」、見方や考え方を活用するための「まとめの問題」が各章に配置されております。日常生活と数学を関連付けるトピックスとして「深めよう」や「クローズアップ」が掲載され、主体的な学習が展開されるように構成されております。

1 7 教育出版でございます。章の始めには、これから学習する内容に関連する既習事項「学習する前に」が、章末には、学習内容を振り返る「学習のまとめ」が設けられております。節中には、活用するための「数学の広場」や発展課題の「ジャンプ」、日常生活や社会生活に利用する課題「みんなで数学」、事象を数理的に考察し、表現力を高めるための「伝えよう」、「話し合おう」が配置され、主体的な学習が展開されるように構成されております。

6 1 新興出版社啓林館でございます。巻頭「学習の進め方」では、学習する手立てやノートの書き方が示されております。また、基礎・基本の定着を図るため

の「基本のたしかめ」や「繰り返し練習」、「まとめの問題」が設けられております。さらに、数学を深めるための「数学展望台」や論理的に考えるための「千思万考」、日常生活との関連付けを図るための別冊「MathNavi ブック」が設けられ、主体的な学習が展開されるように構成されております。

104数研出版でございます。巻頭では、既習事項を振り返るための「クイックチャージ」があり、巻末では1年間のまとめの問題として、「ぐんぐんのぼそうチャレンジ編」が設けられております。また、操作活動を通して考えるための「章のとびら」や思考力を深めるための章末「発展」、日常と関連付けるための「数学探検」が設けられ、主体的な学習が展開されるように構成されております。

116日本文教出版でございます。章の始めの「次の章を学ぶ前に」では、既習事項を振り返ることができるように構成されており、基礎・基本の定着を図るため、章末には「くり返し練習」や「たしかめ」が設けられております。また、思考力を高めるための「いろいろな問題」や、日常生活と関連付けた「生活への利用」や、数学を深めるための「数学研究室」などが設けられ、主体的な学習が展開されるよう構成されております。現在の教科書の使用感でございますが、平成27年度の採択後に行われた「埼玉県学力・学習状況調査」の結果からも、生徒の力を確実に伸ばせているものとなっております。以上です。

会 長 ありがとうございます。

事務局 次に、理科の調査結果について、指導主事が行います。

指導主事 理科の2東京書籍でございます。巻頭で、科学的に探究していく方法やその過程を示しており、理科の学習の進め方が分かるようになっております。また、学年別の3分冊とし、それぞれ各単元の指導時期や内容の系統性を踏まえた単元配列になっております。単元末に「学習内容の整理」、「確かめと応用」、「確かめと応用 活用編」、「学びを広げよう 自由研究」を示しており、巻末には「科学史年表」などの資料がまとめて見られるようになっております。

4大日本図書でございます。巻頭で、学習の流れを示す目次を配列しており、学年全体の学習の見通しがもてるようになっております。学年別の3分冊とし、それぞれ観察、実験のしやすい時期や生徒の発達の段階などを踏まえた単元配列になっております。また、単元ごとに終章「学んだことを活かそう」があり、その後、「まとめ」、「単元末問題」、「読解力問題」を示しております。3学年の巻末には学習のまとめ(1・2年)や巻末資料がまとめて見られるようになっています。

11学校図書でございます。巻頭で「観察・実験の進め方」が示されており、生徒が目的意識をもって観察・実験に取り組めるようになっております。学年別の3分冊とし、それぞれ単元の順序性は示さず、前半は1分野、後半は2分野の単元配列になっております。また、単元ごとに「学習のまとめ」、「単元末問題」、「活用しよう」を示しております。巻末に「自由研究の進め方」やその例、また資料として「誤差と有効数字」や「単位の大きさを表す記号」など基本操作を含む資料がまとめて見られるようになっております。

17教育出版でございます。巻頭で、「理科学習の進め方」を示しており、中学校での学習の進め方が分かるようになっております。学年別の3分冊とし、そ

れぞれ前半は1分野、後半は2分野の単元配列になっております。また、単元末に「要点と重点用語の整理」、「基礎・基本問題」、「活用・応用問題」を示しており、巻末では、基礎技能や単位のしくみ、理科で使う算数・数学、校外の施設を活用しようなどの資料がまとめて見られるようになっております。

6 1 新興出版社啓林館でございます。巻頭で、課題解決の流れを示しており、理科の学習の進め方が分かるようになっております。また、学年別の3分冊とし、それぞれ前半は2分野、後半は1分野を基本とした単元配列の「本冊」と別冊「マイノート」の構成になっております。単元ごとに「学習のまとめ」があり、別冊の「ステップアップ」も「基本のチェック」、「力だめし」、「学年末・中学校総合問題」などを示しております。さらに、青色シートが付属しており、「学習のまとめ」などでは、用語を隠して覚えられるようになっております。現在の教科書の使用感でございますが、主任研修会等でも現在の教科書をうまく活用して、授業を行うことができるものとなっております。

会 長 ありがとうございます。

事務局 次に、英語の調査結果について、指導主事が行います。

指導主事 英語の2東京書籍 でございます。Unit、Daily Scene、Presentationの3部構成で、Unitで基本的な英文を学ばせ、Daily Sceneでコミュニケーションの仕方を学習させ、Presentationで自己表現活動を行わせるようになってます。また、世界の人々や日本の伝統文化に対する理解を深める題材が取り扱われています。各学年の最初にUnit 0があり、1年生では小学校英語の復習、2、3年生では前年の復習から学ばせるようになっていきます。

9 開隆堂でございます。構成は、基礎を学ぶProgramと「聞く」「話す」「読む」「書く」各技能のコミュニケーション活動を中心としたPOWER-UP、それらを総合的・発展的に学習し、自己表現するMy Project から成り立っています。題材は今日的な話題を扱っています。付録として、学年最後の総仕上げの読み物教材Extensive Readingや「英語で『できるようになったこと』リスト」が付いています。

1 1 学校図書でございます。Pre-lessonと4つのChapterから構成されています。1年生は、Pre-lessonで小学校外国語活動での内容を復習させ、それを生かして入門期の言語活動の幅を広げさせるために一般動詞から学ばせる構成になっています。また、Chapterごとに到達目標が示されています。生活の中の身近な話題から、言葉を通じて自分を見つめさせ、世界を広げさせるような題材が取り扱われています。

1 5 三省堂でございます。各Lessonは、学習の見通しを立てる「とびら」、基礎・基本を習得するGET、習得したものを活用するUSE、身に付けたことを確認する「まとめ」から成り、4技能を総合的に育成する構成となっています。Let's Talk、Let's Listen、Let's Readでは「話す」「聞く」「読む」力を高める活動を行います。各学年に3回、学んだことを活用して表現するProject があります。

1 7 教育出版でございます。それぞれのLessonを3段階で構成し、言語材料の定着が図れると同時に、学習を振り返り、発展的な活動ができるようになって

います。また、まとめのページとして**Project**を設定し、言語活動や課題を提示し、そこまでに学習したことを統合的に活用できるようになっています。さらに、語句や文法事項などを繰り返し学習できるよう別冊『**Essentials**』を付属しています。

38 光村図書出版 でございます。各Unit は、本文、Try It! You Can Do It!から成り、基礎力を定着させ、4技能を総合的に伸ばす構成になっています。また、Go for It!では、4技能を統合的に使って考えさせ、自分の意見を表現させるようになっています。本文は、1年から3年までがつながった1つの物語になっており、登場人物の成長を通して、実践的な英語を学ばせるようになっています。現在の教科書の使用感でございますが、現行の教科書を使った課題設定により、生徒が意欲的に学習に取り組んでいます。以上です。

会 長 ありがとうございます。ここで、10分間休憩します。再開は13時30分とします。

＜休憩 10分＞

会 長 それでは、再開させていただきます。

事務局 音楽科の調査結果について、指導主事が行います。

指導主事 音楽科（一般）の17 教育出版でございます。歌唱教材「ソーラン節」と比較聴取教材「かりぼし切り歌」を「歌唱」と「鑑賞」の横断的学習ができる構成になっております。また、命の大切さ、思いやりの心など、道德教育に資する歌唱教材も掲載されております。

27 教育芸術社でございます。「日本の民謡」の鑑賞と民謡「ソーラン節」の歌唱でふれた民謡音階をもとに旋律をつくる、鑑賞、歌唱、創作の横断的学習を図った構成になっております。また、命の大切さ、思いやりの心など道德教育に資する歌唱教材も掲載されております。現在の教科書の使用感でございますが、主任研修会等でも現在の教科書をうまく活用して、授業を行うことができるものとなっております。

音楽科（器楽合奏）の17 教育出版でございます。「名曲旋律集」では、名曲の解説とリコーダーで演奏する編曲が掲載されております。また、リコーダー、箏、三味線を学習するコーナーには、関連する鑑賞教材が掲載されており、表現と鑑賞の領域を横断する教材が示されております。

27 教育芸術社でございます。「名曲スケッチ」では、名曲の解説とリコーダーで演奏する編曲が掲載されております。また、リコーダー、ギター、箏、三味線、太鼓、尺八、篠笛の音色を聴くために関連した鑑賞教材が掲載されており、表現と鑑賞の領域を横断する教材が示されております。現在の教科書の使用感でございますが、研究授業においても、授業者の取り組む様子から教材研究を深めやすい教科書となっております。

会 長 ありがとうございます。

事務局	美術科の調査結果について、指導主事が行います。
指導主事	美術の9開隆堂でございます。中学校段階の生徒の感性や各種能力の発達の段階に沿った系統的な題材で構成しております。また、実際の授業の流れを考えて表現と鑑賞のページを明確に区分せず、それぞれの題材の中で表現と鑑賞を関連させて働かせる構成になっています。生徒の内面に重点を置き、学習ねらいを設定するとともに、生徒作品には作者の言葉を添えています。学習の観点別の自己評価項目として、全題材に「学習の振り返り」を掲載しています。教科書は、1年生用が「美術1」、2・3年生用が「美術2・3」の2冊でまとめています。 38光村図書出版でございます。生徒の発達の段階を踏まえ、3年間を見通した構成となっています。また、題材を「表現」と「鑑賞」に分け、それぞれに日常生活の中で目にする機会のある美術文化の図版や要素を取り入れ、関連を図る構成となっています。巻末資料でも、技法や材料紹介の中に、社会や伝統、自然とのかかわりを示す図版を掲載しています。生徒の発達の段階に合わせた主体的な活動を支援するために、10項目のマークを使い学習のポイントを示しています。教科書は、1年生用が「美術1」、2・3年生用が「美術2・3」の2冊でまとめています。 116日本文教出版でございます。生徒の発達の段階に応じた多様な学びが選択できる構成になっています。また、「絵画・彫刻」「デザイン・工芸」のそれぞれの分野ごとに「表現」と「鑑賞」のページを独立して設定した構成となっています。生徒が自己の3年間の成長を見つめ実感できるよう、自分―他者―社会―自然といったつながりと広がりのある題材構成となっています。生徒目線での発想の仕方（スケッチや言葉）と制作手順や技法を適宜示しています。教科書は、1年生用が「美術1」、2・3年生用が「美術2・3上」「美術2・3下」の3冊でまとめています。現在の教科書の使用感でございますが、身近な事象を扱っており、生徒が自分事として主体的に学ぶことができています。以上です。
会 長	ありがとうございました。
事務局	技術・家庭科の調査結果について、指導主事が行います。
指導主事	技術・家庭科（技術分野）の2東京書籍でございます。学習内容ごとに、「目標」から「まとめよう」までを、ひとまとまりとして構成されております。指導内容の最後に「学習を振り返ろう」「学習したことを確かめよう」「生活に生かそう」などを「学習のまとめ」として示しており、学習の流れを示し、生徒が見通しを立て、振り返る学習活動を重視しております。また、安全な作業に関わる内容が、作業場面に関連付けて示されております。 6教育図書でございます。学習内容ごとに、日常生活との関わりや社会とのつながりを重視した課題を提示しております。指導内容の最後に「各学習内容の身に付けたい内容」や「章末問題」などを「まとめ」として示しており、学習の流れを示し、生徒が見通しを立て、振り返る学習活動を重視しております。また、安全な作業に関わる内容が、作業場面に関連付けて示されております。 9開隆堂出版でございます。学習内容ごとに、「学習の目標」から「ふり返り」

までがひとまとまりとして構成されております。指導内容の最後に「学習をふり返ろう」「生活に生かそう」「探究活動」などを「学習のまとめ」として示しており、学習の流れを示し、生徒が見通しを立て、振り返る学習活動を重視しております。また、安全な作業に関わる内容が、作業場面に関連付けて示されております。現在の教科書の使用感でございますが、主任研修会等でも現在の教科書をうまく活用して、授業を行うことができます。

技術・家庭科（家庭分野）の2東京書籍でございます。学習のまとまりごとに「目標」を設定し、見開きで学習内容を構成しており、見通しをもたせて学習させるようになっております。また、ガイダンスの後、B（食生活）、C（衣・住生活）、A（家族）、D（消費・環境）の内容の順に配列しており、「生活の課題と実践」が巻末に掲載されております。

6教育図書でございます。「学習の目標」を明記したり、「キーワードチェック」欄や「学習のふり返り」としたりして、確認問題を掲載し、自学自習できる構成となっております。また、ガイダンスの後、A（家族）、B（食生活）、C（衣・住生活）、D（消費・環境）の内容の順に配列しており、「生活の課題と実践」は各内容の後に掲載されております。

9開隆堂出版でございます。「学習の目標」を明記し、学習のまとまりごとに「ふり返り」欄を設けて、学習のまとめや反省、自己評価をさせるようになっております。また、ガイダンスの後、A（家族）、B（食生活）、C（衣・住生活）、D（消費・環境）の内容の順に配列しており、巻末に「生活の課題と実践」が掲載されております。現在の教科書の使用感でございますが、研究授業においても、授業者の取り組む様子から教材研究を深めやすい教科書となっております。

会 長 ありがとうございます。

事務局 保健体育科の調査結果について、指導主事が行います。

指導主事 保健体育の2東京書籍でございます。章の扉には、小・中・高等学校の学習内容の系統性が明記されています。「今日の学習」「やってみよう」、「本文・資料」、「考えてみよう」、「生かそう」という学びの道筋が見える構成になっており、キャラクターの吹き出しで学習のヒントを伝えています。保健編、体育編の内容が学年ごとにまとめられています。各章末に、章末資料、確認の問題、活用の問題、学習のまとめや自己評価の欄があります。

4大日本図書でございます。各章の始めに「この章で学習すること」として、その章の課題と学習の流れが示されています。ワイドな見開き構成になっております。習得すべき基本用語を強調文字と「キーワード」として示しています。関連資料を章末にまとめ、幅広い知識を習得できる資料を用いて発展的な内容を示しています。体育編、保健編ともに各リンクにおいて相互に関連するページを示し、横断的な学習をするようになっております。

50大修館書店でございます。章の扉には、単元の目標につながっていくイメージ図を示し、学習の見通しをもてるようになっております。章の始めに、中学生が抱く疑問を掲げています。科学的な根拠を踏まえた学習内容が重視され、関連する図表や写真が示されています。また、実生活に関連した課題は4ページで構

成されています。章末には学んだことを「振り返ってみよう」、「生かそう」、「広げてみよう」と学習のまとめのページが設定されています。

224 学研教育みらいでございます。章の扉に小・中・高等学校の学習内容の系統性が明記されています。基礎的・基本的な知識の習得とその活用・探究に重点を置き、「学習の目標」、「本文・資料」、「活用しよう」という流れで構成されています。習得した知識を活用する課題、資料を読み解く課題、実験・実習等が設けられたり、各章末の「探究しようよ！」で、課題と課題解決の方法などを例示したりしています。現在の教科書の使用感でございますが、身に付けた力を実生活で活用することにつながる構成となっています。

会 長 ありがとうございます。以上で、調査員による結果報告を終わります。何か御質問はございますでしょうか。

委 員 (質問なし)

会 長 担当の先生方、ありがとうございます。ここで休憩をとります。この後の協議は、14時からお願いします。協議及び採択につきましては、非公開としますので、傍聴の方の退室を求めます。それでは、休憩に入ります。

＜休憩 10分＞

会 長 協議に入る前に、進め方についてお諮りいたします。第五採択地区協議会規約第十一条に従いまして、協議会の会議において協議し、委員全員の一致によって決定となります。なお、協議が調わない種目があるときは、委員は、それぞれ選定すべきと考える教科用図書に投票をしていただき、過半数の投票を得た教科用図書を選定いたします。その場合において、過半数の投票を得た教科用図書がないときは、最多数の投票を得た2種類の教科用図書について投票を行い、多数を得た教科用図書を選定します。この場合において、投票を行うべき2種類の教科用図書及び選定する教科用図書を定めるに当たり、得票数が同じときは、協議の経過を勘案し、会長がこれを決めます。

なお、本日欠席の委員からは、委任状をお預かりしております。委任状の内容は、『私は、令和元年度第五採択地区協議会における議決の権限を、別紙様式の内容も含めて議長に委任いたします。また採択の際に同数であった場合においても、権限を議長に委任いたします。令和元年7月11日』A委員様から出ております。同じく『私は、令和元年度第五採択地区協議会における議決の権限を、別紙様式の内容も含めて議長に委任いたします。また採択の際に同数であった場合においても、権限を議長に委任いたします。令和元年7月19日』B委員様から出ております。皆様、よろしいでしょうか。

委 員 (異議なし)

会 長 それでは委任を認めます。
それでは、これから協議をして教科用図書、まず小学校から行います。始めに

道徳、それから次に英語、その後国語・書写と、そのあとにつきましては、教科書の順番に沿って決めていきます。道徳につきましては、初めての改訂であり、英語につきましては全くこれから決めるということです、この2教科については、協議の時間は20分です。
あとは全部10分ずつの刻みで協議の時間を確保しております。なるべくスムーズに行えるよう、ご協力をお願いいたします。

それでは、小学校 道徳につきまして、皆さんのほうからご意見を述べてください。よろしくお願いいたします。現在採択しているのは光村図書出版でございます。先ほどの調査員の方の研究報告を参考にしながら、ぜひご意見をお願いいたします。

委員 前回も、道徳ではノートと評価という問題がありました。先ほども調査員の話ではノートがあったということで、少し大変だったというお話もございましたので、やはりノートはないほうがよろしいのかなと思います。今現在使っている光村については身近な問題を多く取り上げている、ちょっと国語の教科書的な感じはするんですが、そういったところから私は光村がよいと思います。

会長 ありがとうございます。これは前回採択する時にも課題になったわけですけど、ノートある・なしということで、今回についてもノートのない発行社を選択していくということでよろしいですか。今、光村を推したいということでお話がありました。いかがでしょうか。

委員 光村は、前回もとても議論があって選んだものということで、若干他のエリアとは異なる採択なのかもしれませんが、それもまた第五採択地区のよさだと思います。

委員 別冊ノートの関係もありますし、前回議論がしっかり深まったところで選んだものなので、やっぱり光村がよいと思います。

委員 現行使っているということで、現場の方からも使いづらいという声は聞いておりませんので、習うべき内容のねらいを明確にしているという話も光村ではありましたので、私も光村がいいかなと思います。

会長 他にいかがでしょうか。令和2年度に使用する道徳の教科用図書につきましては光村図書出版でよろしいですか。

委員 (異議なし)

会長 ありがとうございます。

それでは、次に英語にまいります。英語は全部で7つの会社から出ています。現在子供達は、5、6年生は文科省発行の“**We can**”を使っていますが、先ほどの調査委員の説明でも“**We can**”に近い方がよいという話がありました。3、4年生は、“**Let's try**”という副読本を使っています。来年になると英語の教科書を5、6年で使うこととなります。サイズや厚さについても違うので比べてください。

委員 英語の場合のQRコードの活用については、どうでしょうか、発音なんですよ

	うか。今見てみましょうか。 (♪QRコード確認♪)
委員	家で発音とかわからないときに、確認するのはいいですね。先生もQRコードを使えますよね。
委員	ついてないよりは、ついての方がいいですよ。サイトでまとめて見れるものもあるみたいですね。準備中のところもありますね。
委員	復習にも使えそうですね。
会長	東京書籍のPicture Dictionaryがいいという意見がありました。
委員	それはいいですね。中学校に入っても使えるし、分冊になっているのがいいです。教科書と一体化してないので。持ち歩きもできそうです。
委員	これだけみると東京書籍がいいと思うのですが。
委員	東京書籍は、“We can”と“Let’s try”を軸に編集しているんですよ。現行の延長のようなかたちで使いやすいだろうという意見もありました。
委員	私は、先ほどの説明にもあった「三省堂クラウン」が教師にも児童にも学習の見通しを持ちやすい構成であるということ、巻末に学習した主な表現をまとめて書くものがのっているんです。振り返りが、各5年生、6年生で学んだことがのっているということで、復習にもなります。あと、Hop Step Jumpに向けて、繰り返し学習できるクラウンか、“Blue Sky”が内容的にいいと思いました。
委員	私が個人的に見やすかったのは、アルファベットからはじまっているし、何もやっていない小学生にはちょうどいいかなと思い、“啓林館”がいいと思ったのですが、あと“三省堂”もテンポがよい感じがしました。“教育出版”は、中1と中2の子供たちには好評でした。自分たちが小学校でやってきたことを、この教科書だったらいかせるかなという話はしていました。あと、もう一つあげるとしたら“東書”の別冊がいいかなと思いました。“東書”は、いろいろなことをつっこんでいて面白いかなと思いました。
委員	私も“三省堂”がいいかなと思ったんですが、今の子供たちは、活動から入っていくので、活動と話すことから。始めは“東書”を見た時に、「書くこと」が非常に多いのかなと思ったのですが、多くても教師の使いようだと思うので、活動でわかるような教科書がいいかなと思いました。見た目も大切だと思うので、いきなり書くとかというかたちが多く見えてしまうと苦手意識が出てしまうと思います。言語から入っていったほうがいいのかと思います。“東書”と“三省堂”あたりが見やすいかなと思います。
委員	“教育出版”は、タイトルに関して、“ワンワールド”っていうのは、いったいどういう意味かという質問がありました。このタイトルから、英語で統一世界みたいなものを目指そうか、そういう思想的なものを目指すのかという意見でした。
会長	今のところの御意見の中で、三省堂、啓林館、教育出版、東書が出てきました。三省堂も啓林館も、東書も同じようなご意見でしたが、この三つの中で絞ってい

	きたいと思います。
事務局	※一致しなかったので、規約に従い、投票。 1 2票中1票は3社以外でしたので、無効票とさせていただきます。結果、東書7票、三省堂2票、啓林館2票。過半数超えたのは東京書籍となります。
会 長	令和2年度、小学校英語教科書については東京書籍を選定させていただきます。
会 長	それでは、小学校 国語をお願いいたします。国語については東京書籍、学校図書、教育出版、光村、4社でございます。いかがでしょうか。
委 員	確認させていただきますが、国語と書写は同じ方がいいですか。
事務局	別でもかまわないです。
会 長	では国語からまいります。国語については、新しい学習指導要領では、4年生までに全都道府県名を漢字で書けるようにしていただきたい。それはどこの教科書会社も入っていますので比較になるのは、東京書籍と光村が5、6年生は1冊。それから学校図書と教育出版は、1年生から6年生まで2冊上下。そのの違いがあります。
委 員	私は光村がいいと思うのですが、1年生の教科書が薄くてページ数が少なくコンパクトにまとめられているという感じがしました。あと3年生で、国語辞典の使い方が出ているんですけど、光村以外は4ページ使っていますが、光村は3ページとすごくコンパクトに分かりやすくまとまっていて、子供にとっては分かりやすいかなと思いました。学ぶべき大切なことがとても分かりやすく示してあって、総合的に考えて私は光村がいいと思います。
会 長	皆様、光村がよいという意見が多かったのですが、よろしいですか。
委 員	(異議なし)
会 長	それでは国語につきましては、光村図書出版に決定させていただきます。次に 書写をお願いします。書写は5社出ております。
委 員	先ほど国語とは別々に考えたほうがいいという話でしたが、光村の内容の中では教科書との関連があるということで、そういう点では光村の関連性を生かした授業ができてよろしいのかなと思います。
委 員	光村の場合はQRコードで動画が見られたり、清書が付いてるのが少し工夫が見られます。
会 長	今日の報告でも、国語の教科書との関連が多く内容が充実しているという報告がありました。国語に合わせて、書写についても光村ということで決定させていただいてよろしいですか。
委 員	(異議なし)

会 長	それでは書写についても、光村図書出版ということで決定をさせていただきます。
会 長	次に小学校 社会につきましてご意見をいただきたいと思います。社会については東京書籍、教育出版、日本文教出版、この3社でございます。
委 員	内容的には東京書籍がよいかなと思いますが、社会科の6年生が分冊化しており、どちらかというと1冊のほうがいいのではないかという話になりました。そうすると教育出版もありかなというところですよ。
委 員	教育出版のほうは教科書を読んでも、文章で説明が長いのに対して、東京書籍のほうの方がわかりやすい、というところを取ると、児童が学んでいく上で理解しやすいのは東京書籍のほうかなと思います。
委 員	子供達がわかりやすいのは東京書籍じゃないかと思います。確かに2冊になっているので、使いやすさという問題ではどうなのかなという話がありました。あくまでも使うのは子供達ですから、軽いほうが私はいいかなと思います。特に6年生、政治・国際・歴史と全く中身の違うことですから、分けたほうがそれだけ充実すると思います。
委 員	あと東京書籍は、巻末の索引が地名、国名、人物とかそれぞれあるので、後で人物を検索するのにとても分かりやすいと思いました。
会 長	東京書籍が使いやすいということで、いいという御意見が多いのですが、よろしいですか。
委 員	(異議なし)
会 長	それでは小学校社会につきましては東京書籍を選定させていただきます。
	次に社会に合わせて地図でございます。地図については東京書籍、帝国書院、2社でございます。来年度から地図については3年生から使わせるということになりますが、どちらがわかりやすいか、その辺だと思うのですが。
委 員	地図は地図なので正確さとかそういったことを考えるとやっぱり帝国書院かなと思います。
委 員	場面をみると帝国書院の方が明るいですし、「地図の約束」というものが載っているんで、そのへんがいいなと思います。
委 員	見やすく、3年生から使用するんで、地図は地図って話が多いんで、データとかもかなり詳しいので帝国書院を推したいと思います。
会 長	それでは、帝国書院の御意見が多いようですので、地図については帝国書院を選定するというところでよろしいですか。
委 員	(異議なし)
会 長	次に算数について御意見をいただければと思います。算数は6社出ておりま

- す。よろしくお願いします。
- 委員 小学校から中学校への系統性がある東京書籍でどうかなと思うのですが。
- 委員 東京書籍を選びました。入門もやさしいちょっと大きめの、子供がわかりやすいのでスタートとして、子供が好きになるような内容になっているのかなと。問題の難度が少し抑えられているというところが、算数を続けていくことには必要かなと思います。
- 会長 東京書籍ということで、選定した理由がありました。他にいかかでしょうか。
- 委員 (異議なし)
- 会長 それでは算数については東京書籍を選定させていただきます。
- 理科は、5社からでております。理科については、新しい学習指導要領の中で自然災害、現行は5年、6年ですが、内容については、4年生にも広げる、また現行では中学1年生がやっている「音の性質」これについて、「光の性質」とともに3年生で学んでいくことになります。ですので、現行とは大分違ってきます。ですから「音と光」については、教科書会社によって連続のものもあれば、はなれたもの等いろいろな扱いがあったと思います。あくまでも子供たちが使う教科書ですから、今までにも意見がありましたが、子供たちが、使いやすい分かりやすい教科書を考えていただければと思います。
- 委員 和光市は、「教育出版」の中に下新倉小の写真が入っていて、内容もそうですが、子供たちがより身近な方がいいかなという意見がありました。
- 会長 先ほどの調査員の報告でも、「使いやすい」と言う言葉が教育出版には、出てきておりました。そういう意味でも、専門の先生方が見ても、「見やすさ」、使いやすさなどが優れていたと思います。そういうことで、小学校理科については、教育出版でよろしいでしょうか。
- 委員 はい。
- 会長 理科につきましては、委員全員の一致により教育出版に決定させていただきます。
- 次は生活科ですが、全部で7社あります。新しい学習指導要領では、スタートカリキュラムを大事にしていきたいということが前提になります。そのような観点でみていただければと思います。生活科について、ご意見いただきたいと思います。
- 委員 生活科の教科書は、どこの会社も内容についてはさほど大きく変わらないと思いますが、東京書籍については、家庭につなげていく、各家庭で振り返りができるということがありますので、私は東京書籍がよろしいかと思います。
- 会長 家庭につながった取組ということで、東京書籍という御意見がありました。他にいかがですか。

- 委員 今日の調査員の先生の話でもあったのですが、東京書籍で、自然、植物、昆虫、動物、空の様子ってあって、できるだけ実物大で掲載されているってことで、そのあたりも子供たちが見てわかりやすいと思いました。全体とおしても、東書はわかりやすいと思います。
- 会長 他にはいかがですか。資料の関係、家庭との連携ですね。他にございますか。それでは、生活につきましては、委員全員の一致により東京書籍でよろしいでしょうか。
- 委員 はい。
- 会長 それでは、生活については、東京書籍を選定させていただきます。
- 次に音楽でございます。音楽は2社でございます。御意見をお願いします。
- 委員 教育出版の方ですが、楽譜が見つらい、若干そんな感じがしたんですけども。調査員の報告でもありましたが、専門的な内容が入っているという点で、学級担任というレベルで教えられるかという多少疑問がでておりましたので、そういうところも考えると教育芸術社の方がよろしいかなと思います。
- 委員 学級担任でも教えやすい教科書ということで、報告にもありましたが、特に小学校ですので、学校によっては、音楽も学級担任ということもあると思います。音楽専科の先生がいるところは、学級数にもよりますけど、最低でも4、5、6年、あとは学級担任が行うことが多いということですから、そういう観点からいけば、教育芸術社がいいのではないのでしょうか。
- 会長 他にいかがでしょうか。
- 教芸は、系統立ててできていると思います。あと、4年生に「みどりのそよ風」が入っているんです。これは清水かつらの歌で、和光市の白子小学校などでは、これが毎日ながれるんです。
- よろしいでしょうか。学級担任が扱いやすいということは、子供たちもわかりやすいということなんですよ。教育出版は、若干子供たちがわかりにくいのかなという気がしました。
- それでは、音楽については、教育芸術社で決定をさせていただきます。
- 会長 次に、図画工作でございます。教科書会社は2つでございます。
- 委員 現行が日本文教出版だったのですが、今回見させていただいたときに開隆堂の方が彫刻刀であるとか、糸のこであるとかそういったものの図解が大きくて、そこに惹かれたのでちょっと変えてみてもいいかなと思いました。表紙の鮮やかさとかそういったもの、開隆堂がいいかなと思いました。
- 委員 私も開隆堂のほうで、彫刻刀の使い方とかをちゃんとやってくれたほうが間違いないと思います。
- 委員 今意見が出たように、全員が全員図工が得意という先生ではないので、彫刻刀等使い方がしっかり示されてるほうが、多分教科書としては使いやすいと思います。色んな材料や資料を持っていると思うので、完成度の高い作品が載ってい

	るということよりも道具の扱い方がきちんと説明してある開隆堂のほうがいいかなと思います。
委 員	道具の使い方をしっかりやらないと、道具の機能を生かせないというのがありますから。そこは丁寧な説明があった方がいいと思います。
会 長	そうすると図画工作につきましては、現行は日本文教出版ですが、教科書を見てやはり彫刻刀の使い方とかあるいは道具の使い方、そういった観点からも開隆堂出版の方がいいかなと思います。 令和2年度使用の図画工作の教科書については開隆堂出版でよろしいですか。
委 員	(異議なし)
会 長	それでは開隆堂出版に、決定をさせていただきます。
会 長	次に家庭科に移ります。東京書籍と開隆堂出版です。特に家庭科では、新しい学習指導要領で押さえてほしいのは、和食のこととか、食事のマナーのこととか、消費生活、売り手と買い手の合意、そういったものについて配慮していただきたいと思います。
委 員	私は開隆堂のほうがQRコードもあるんですが、先生が切ったりとか、縫ったり、こちらの写真の方が結びやすくわかりやすいかなと思います。
委 員	私も開隆堂の方がいいと思います。理由はチャレンジコーナーで学んだことを生かせる工夫があったり、あと包丁の使い方や左利き用の説明もあったり、配慮がある。ただ、中の調理とか家の中の写真とかを見ると、東京書籍の方が新しい感があるかなとは思いますが、内容的な配慮のことを考えると開隆堂がいいと思います。
委 員	開隆堂はとてもオーソドックスで、東書は新しくて、どっちにいくという感じですね。
会 長	東京書籍か開隆堂ということで、現在のところ開隆堂の方が、QRコード、あるいはチャレンジコーナー、あるいは左利きと御意見が出ていますけども。
委 員	左利きに関しては、東京書籍のほうはかなりわかりやすくなっています。
会 長	いかがですか。
委 員	東書でいいと思います。
会 長	それでは家庭科について、東京書籍を選定させていただきます。
会 長	小学校最後になります。保健でございます。保健については5社発行されております。現在使っているのは学研です。保健についてお願いします。
委 員	先ほどの説明、質問と重なってしまうのですが光文社が、やはり情報量がとても多く入っていて、3、4年生エッセイの中には体と心の性の違いについて触れ

ていたり、またそこでは相談窓口の紹介もあったり、あとその他もかなり多くの情報が入っていて、全部授業で出来るかどうか分からないですが、子供達にとってそういう情報があるということは、何かの助けになるのかなという点では、私は光文書院が。先ほどの説明のお話でも、学習課題が把握しやすいという話もありましたので、光文書院がよろしいと思います。

会 長 いかかでしょうか。いまのところ、御意見いただいているのは光文書院です。

委 員 逆に現行の学研って、真逆な感じがします。一番少ないんですよ。おそらく選ぶときに、無理なく全部やるか、それとも選択肢が広い方がいいかというので、前回の時はカバーできる最低限でよいのではという選び方でしたから。

委 員 広く取っておいてその中から先生が選ぶのか、最低限これですよとお渡しして、これはやってくださいっていう考え方なのかで、教科書の選び方が変わりそうだなっていう。

会 長 今のところ御意見が出てるのは、光文か学研かというところでございます。確かに学研については、総ページ数が少ないですけど、光文の方が若干多い。そんなに変わらないですけど。発展的内容の教材っていうのは、光文が倍近くある。報告でもありましたけど、選択肢が多いということでそれぞれの学校の実態に合わせて、うまく活用できるんじゃないかというのが光文でした。いかかですか。光文か学研どちらかで決めたいと思います。

委 員 今両方見て、5、6年生をしっかりと見てたところなんですけど、見やすいのは学研だったんですが、委員さんの意見にもあったように、資料として載ってれば困ったときに助けになるのかなという気もあります。

会 長 私も情報として、学校によって違う問題もあるのかなと思いますので、情報として載ってるというのは選択肢として広がるのかなと思いましたので、光文がいいのかなと。光文書院に関するご意見が多いんですけど、よろしいですか。

委 員 (異議なし)

会 長 ここで、5分間休憩します。再開は 16時50分とします。

＜休憩 5分＞

会 長 再開いたします。中学校の方は、特別の教科道徳を除いての選定になります。尚、使用期間は、来年度1年のみでございます。再来年度の教科書については、今回このようなかたちで採択協議会を行います。それでは令和2年度のみになりますが、中学校の教科書について御意見をいただきたいと思います。はじめに、国語からお願いします。

委 員 さきほどの、報告の方で、現行の光村は、とくに支障なく使われているということで、光村でいいと思います。

委 員 はい。賛成です。

会 長 それでは、国語につきましては、光村ということで選定をさせていただきます。

会長	それでは、同じく中学校書写につきまして、御意見を申し上げます。
委員	こちらにつきましても、現行で問題なさそうですし、光村と教科書準拠ということもありますし、その点をいかして、光村でいいと思います。
会長	今、光村という御意見がありました。よろしいでしょうか。ありがとうございます。それでは、中学書写につきましては、光村ということでお願いします。
会長	それでは、次に中学校社会科につきまして、御意見を申し上げます。まず、地理的分野からお願い致します。社会科、地理的分野、歴史的分野、公民的分野と3つに分かれています。
委員	現行は、東書ですね。前回の選定の時にも、意見があつたように、やっぱり3つがそろっていたほうが使い勝手がよいという話でした。
会長	はい、ありがとうございます。今日の資料の10ページを見ていただければ、全部の内容を網羅しているのは、東書、教出、帝国、日文、この4つですね。
委員	帝国は、歴史の報告はなかったですね。だから実質3つになるかと思います。
委員	現行の東書でよいかと思います。
会長	現行の東京書籍という御意見です。よろしいでしょうか。つぎに歴史的分野ですが、そろえるということで歴史的分野、公民的分野についても東京書籍でよろしいでしょうか。
委員	はい。
会長	はい、ありがとうございます。それでは中学社会につきましては、東京書籍ということでお願いいたします。
会長	それでは、地図でございます。地図については2社ですね。東書と帝国です。
委員	現行の帝国書院でよいかと思います。
会長	現行の帝国書院ということで、御意見いただきました。地図につきましてよろしいですか。
委員	(異議なし)
会長	全員の一致ということで、帝国にさせていただきます。
会長	次に、数学につきまして御意見を申し上げます。
委員	先ほどの報告にあつた通り現行の教科書で進めていけますし、学年も上がって来ますのでこのまま東書でいいと思います。
会長	現行の東書を選定するという御意見をいただきました。よろしいですか。

委 員	(異議なし)
会 長	それでは委員全員の一致によりまして、東書ということで決定をさせていただきます。
会 長	次に理科、お願いいたします。現行は東京書籍です。
委 員	現行の東京書籍でいいかなと思います。
会 長	現行の東京書籍で、という御意見をいただきました。よろしいですか。
委 員	(異議なし)
会 長	次に移ります。英語につきまして御意見をお願いします。英語については、現在は開隆堂でございます。
委 員	次回の選定においては、ちょっと見たほうがよいかと思うのですが、ただこの1年間だけで変えてまた次のに変わってとなると、現場の混乱も大きいかと思いますので、改訂の時に来年きちんと議論するということで現行でよいのではと思います。
会 長	英語につきましては来年1年間だけですので開隆堂出版ということで、来年度は選定をして、そして令和3年度以降についてはですね、特に英語、見直す必要があるという御意見でした。ということで、来年度につきましては開隆堂出版ということでよろしいですか。
委 員	(異議なし)
会 長	それでは英語につきましては、委員全員の一致ということで、開隆堂ということで決定させていただきます。
会 長	次に音楽に移ります。音楽については、一般と器楽合奏があります。現行は教芸でございます。
委 員	そろえたほうがいいんじゃないですか。
会 長	報告でもですね、現在も十分教科書を活用できるということで報告がありましたので、現行の音楽学一般・器楽合奏については教育芸術社ということで、委員全員の一致ということで選定をさせていただきます。
会 長	次に美術お願いいたします。美術については3社でございます。現行は開隆堂でございます。
委 員	現行でよろしいかと。
会 長	現行の開隆堂ということで、生徒がですね主体的に学んでいるという報告ありましたので、美術については開隆堂ということでお願いいたします。
	次に技術・家庭。これは技術の分野と家庭の分野それぞれあります。技術の分

	野からいきたいと思いますけれど、現行は開隆堂でございます。
会 長	現行の技術分野にしても、家庭分野にしても先ほどの報告をきいて開隆堂の教科書ということで使っているわけですが、生徒が主体的に学んでいて特に問題は無いということですので、開隆堂ということによろしいですか。
委 員	(異議なし)
会 長	それでは技術分野、家庭分野、開隆堂ということでお願いいたします。
会 長	次に保健体育でございます。保健体育は4社で、現在は学研教育みらいを使用しております。
委 員	若干ミスがあるということですので、次回採択の時に、見てほしいとありましたので、ここは要検討だと思います。
委 員	学研は、小学校と同じで一番、トピックス数をおさえているのでいいと思います。
会 長	それでは、中学校保健体育につきましては、全員一致で現行の学研ということでお願いします。ただ、若干データーのミス等もあるということですので、令和3年度以降の教科書については、また慎重な協議が必要になると思います。 以上で中学校の教科書の選定を終わりにいたします。ありがとうございました。
会 長	それでは、小学校の採択の原案を確認させていただきます。 国語につきましては、光村です。 書写につきましても光村です。 社会につきましては、東京書籍です。 地図につきましては、帝国書院です。 算数につきましては、東京書籍です。 理科につきましては、教育出版です。 生活につきましては、東京書籍です。 音楽につきましては、教芸です。 図画工作科につきましては、開隆堂です。 家庭につきましては、東京書籍です。 保健体育につきましては、光文です。 英語につきましては、東京書籍です。 道徳につきましては、光村です。 次に、中学校の教科書です。国語につきましては、光村です。 書写につきましても光村です。 社会、地理的分野、歴史的分野、公民的分野それぞれ、東京書籍です。 地図については、帝国書院です。

数学につきましては、東書です。
理科につきましては、東書です。
音楽、一般、器楽それぞれ教芸です。
美術は、開隆堂です。
保健体育は、学研です。
技術、開隆堂です。
家庭、開隆堂です。
英語、開隆堂です。以上、案として決定してよろしいでしょうか。

委 員 (異議なし)

会 長 はい、ありがとうございました。大変ご協力ありがとうございました。
委員の皆様は、様々なご意見があろうかと思いますが、義務教育小学校の教科用図書の無償措置に関する法律の第13条5項に「当該採択地区内の市町村教育委員会は、協議の結果をもとに、種目ごとに同一の教科用図書を採択しなければならない」となっております。
本日、委員の皆様の様々なご意見をもとにして行われました協議の結果に基づいて、各市定例教育委員会での採択をよろしく願います。

以上をもちまして、議長の任を解かせていただきます。どうもご協力ありがとうございました。

5 あいさつ

司 会 それでは、皆様ありがとうございました。
では、第五採択地区教科用図書採択協議会 副会長よりあいさつを申し上げます。

副会長 閉会にあたりまして、一言あいさつ申し上げます。
今日は、お忙しい中、長時間にわたり御協力いただきましてありがとうございました。今日の会議が、会長様をはじめ、参加者の皆様のご協力によりまして無事行われたことに深く感謝申し上げます。それでは、市の採択事務が円滑に進むことを祈念しております。皆様方には、より一層のご支援、御協力をお願い申し上げます。簡単ではございますが、閉会のあいさつとさせていただきます。本日は、どうもありがとうございました。

6 閉会

事務局	では、事務局より連絡を申し上げます。 それでは、事務局より再度確認させていただきます。第五採択地区教科書採択案につきましては、7月25日の各市教育局委員会で議決をお願いします。議決いただきました時点で事務局、和光市教育局委員会に連絡いただければと思います。その後、各学校への報告並びにホームページの公開となりますので、よろしくお願いします。7月25日、委員会終了後、両者連絡を取り合って確認をさせていただきますので、その旨よろしくお願いします。以上でございます。
司 会	それでは、以上をもちまして、第2回第五採択地区教科用図書採択協議会を閉会いたします。ありがとうございました。

署名： _____ 印

署名： _____ 印